

テクノプロ・グループ 決算説明資料 (2024年6月期 第1四半期)

テクノプロ・ホールディングス株式会社（証券コード：6028）

2023/10/31

目次

	Page
I : 業績概要	2
II : KPI分析（国内）	7
i : 技術者数・稼働率	7
ii : 売上単価	11
III : 海外子会社の状況	12
IV : 業績予想	13
V : 株主還元	15
VI : Appendix	17
VII : データ資料集	20

1. 会計数値の単位未満は切捨処理、各種KPIは国内の「R&Dアウトソーシング」及び「施工管理アウトソーシング」セグメントの数値を記載
2. 売上収益を「売上高」、非支配持分控除後の親会社の所有者に帰属する当期利益を「当期利益」とそれぞれ記載
3. 事業利益は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」を減算したもので、「その他の収益」や「その他の費用」に計上される特別項目（雇用調整助成金や減損損失など）による影響を除いたものを示す
4. PPA資産償却前営業利益は、「営業利益」に、M&A時のPurchase Price Allocation（PPA）によって生じた顧客関連資産の償却費、減損損失、Put Option（PO）債務変動損益・早期行使益、Earn-Out（EO）債務変動損益を加減算したものを示す
5. 1株当たり指標は、2021年7月1日効力発生の株式分割（1対3）後の株式数を基準に算定

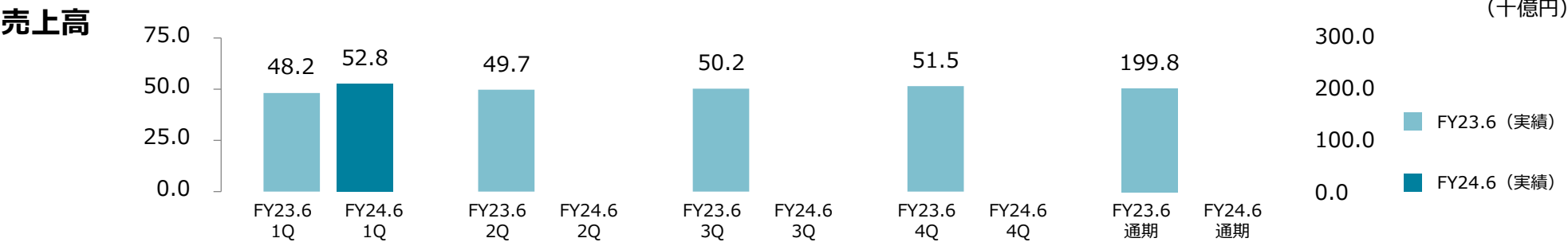
2024年6月期 第1四半期 業績概要

- FY24.6 1Qの売上高は**528億円**で前年同期比+9.7%、売上総利益は**140億円**で同+6.1%、事業利益は**57億円**で同△3.9%、営業利益は**57億円**で同△3.6%、当期利益は**40億円**で同△3.6%（販管費増加10億円は主に、採用費+2.3億円、海外部門+4.4億円）
- FY24.6 1Qの売上総利益が前年同期比で**8億円の増加**に留まったのは、主に、国内稼働人数増+6.2億円、派遣契約単価改善+7.2億円、請負・受託業務拡大+6.8億円、有休引当増△1.7億円、季節賞与・決算賞与引当増△6.2億円、スタンバイ費用増△2.8億円
- FY24.6 1Qの業績は期初計画を若干上回って着地し、2QのKPI予測に基づくと、上半期の業績予想に対して順調に進捗

（百万円）

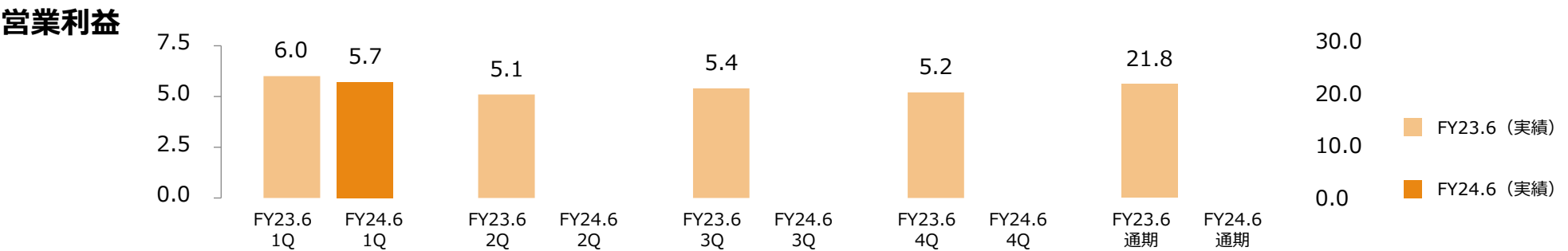
	第1四半期（単期）				上半期				通期			
	FY23.6 （実績）	FY24.6 （実績）	前年同期比		FY23.6 （実績）	FY24.6 （予想）	前年同期比		FY23.6 （実績）	FY24.6 （予想）	前年比	
売上高	48,225	52,896	+4,671	+9.7%	98,011	107,000	+8,988	+9.2%	199,851	220,000	+20,148	+10.1%
売上総利益	13,249	14,058	+808	+6.1%	26,038	—	—	—	52,903	—	—	—
売上総利益率	27.5%	26.6%	△0.9pt		26.6%				26.5%			
販売費及び一般管理費	7,312	8,350	+1,038	+14.2%	14,931	—	—	—	31,523	—	—	—
対売上高比率	15.2%	15.8%	+0.6pt		15.2%				15.8%			
事業利益	5,937	5,708	△229	△3.9%	11,106	11,500	+393	+3.5%	21,379	24,500	+3,120	+14.6%
事業利益率	12.3%	10.8%	△1.5pt		11.3%	10.7%	△0.6pt		10.7%	11.1%	+0.4pt	
その他の収益	131	91	△40	—	183	—	—	—	582	—	—	—
その他の費用	61	10	△51	—	106	—	—	—	124	—	—	—
営業利益	6,007	5,788	△218	△3.6%	11,183	11,500	+316	+2.8%	21,838	24,500	+2,661	+12.2%
営業利益率	12.5%	10.9%	△1.5pt		11.4%	10.7%	△0.7pt		10.9%	11.1%	+0.2pt	
税引前当期利益	6,050	5,852	△197	△3.3%	11,124	11,500	+375	+3.4%	21,837	24,500	+2,662	+12.2%
当期利益	4,180	4,031	△148	△3.6%	7,714	7,800	+85	+1.1%	15,365	16,700	+1,334	+8.7%
当期利益率	8.7%	7.6%	△1.0pt		7.9%	7.3%	△0.6pt		7.7%	7.6%	△0.1pt	
1株当たり当期利益（円）	38.80	37.67	△1.14	△2.9%	71.61	72.97	+1.36	+1.9%	142.71	156.23	+13.52	+9.5%
1株当たり配当金（円）	—	—	—	—	25.00	25.00	—	—	75.00	80.00	+5.00	+6.7%

参考）四半期推移



前年同期比	+9.7%		—		—		—		—	
通期進捗率	24.1%	—	24.9%	—	25.2%	—	25.8%	—	100.0%	—
国内平均技術者数	22,158	24,233	22,506	[24,550]	22,857	—	24,036	—	22,889	—
国内平均稼働率	95.9%	95.0%	96.2%	[95.6%]	95.8%	—	93.1%	—	95.2%	—
平均売上単価(千円/月)*	655	669	667	[684]	679	—	676	—	669	—
稼働日数*	56.8	56.4	57.4	[58.1]	55.6	—	57.8	—	227.6	—
1日当たり稼働時間*	8.43	8.39	8.46	[8.42]	8.46	—	8.39	—	8.43	—

※ [] は、現時点の予想

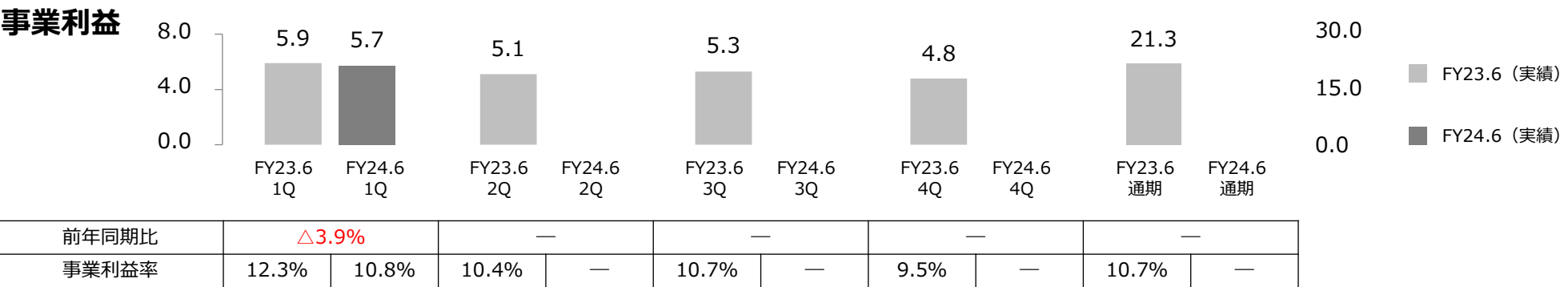
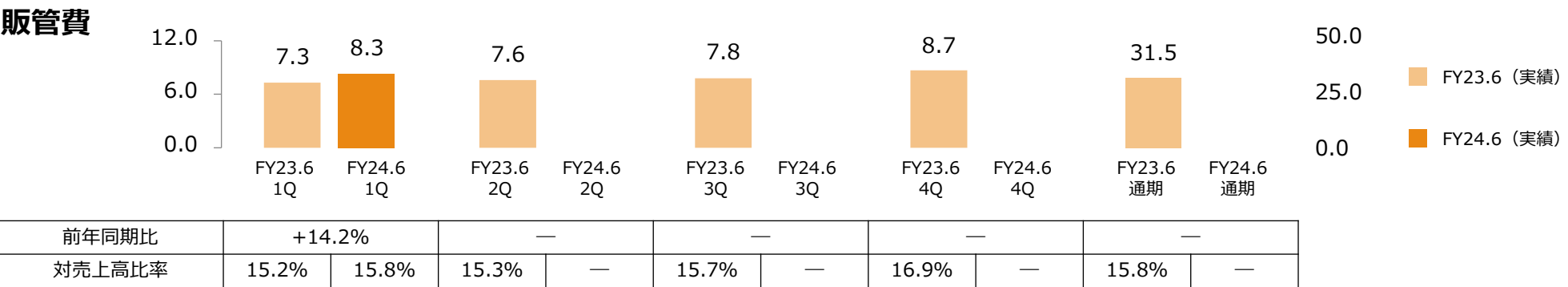
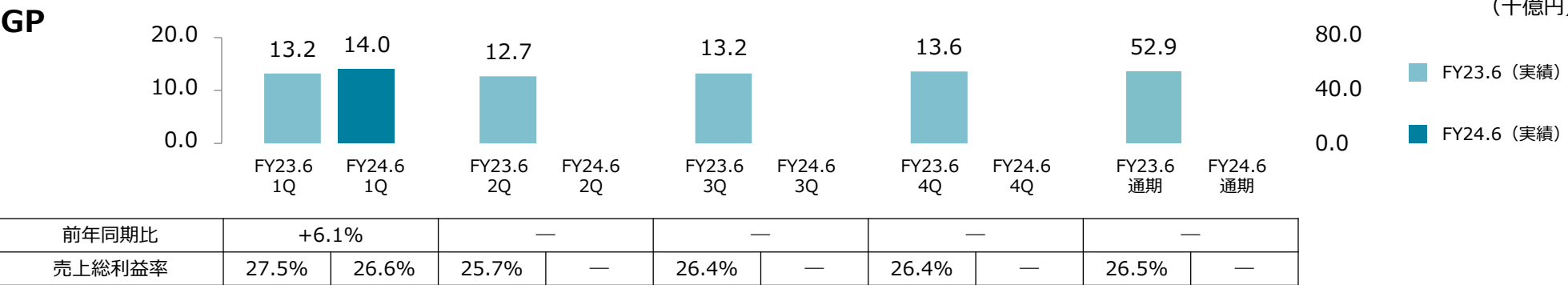


前年同期比	△3.6%		—		—		—		—	
通期進捗率	27.5%	—	23.7%	—	24.8%	—	24.0%	—	100.0%	—
営業利益率	12.5%	10.9%	10.4%	—	10.8%	—	10.2%	—	10.9%	—



* 主要な国内子会社（テクノプロ社、テクノプロ・コンストラクション社）。但し、平均売上単価のみ、全ての国内子会社を対象（以下同じ）

参考）四半期推移（続き）



参考) 2024年6月期 第1四半期 セグメント別業績

(百万円)

	R&Dアウトソーシング				施工管理アウトソーシング				国内その他				国内小計			
	FY22.6 1Q	FY23.6 1Q	FY24.6 1Q	前年同期比	FY22.6 1Q	FY23.6 1Q	FY24.6 1Q	前年同期比	FY22.6 1Q	FY23.6 1Q	FY24.6 1Q	前年同期比	FY22.6 1Q	FY23.6 1Q	FY24.6 1Q	前年同期比
売上高	32,585	36,591	40,561	+10.9%	4,916	5,187	5,559	+7.2%	1,101	1,272	1,066	△16.2%	38,604	43,051	47,187	+9.6%
連結売上高に占める割合	78.3%	75.9%	76.7%		11.8%	10.8%	10.5%		2.6%	2.6%	2.0%		92.7%	89.3%	89.2%	
売上総利益	7,134	9,719	10,467	+7.7%	1,387	1,525	1,735	+13.7%	811	915	688	△24.8%	9,333	12,160	12,891	+6.0%
売上総利益率	21.9%	26.6%	25.8%		28.2%	29.4%	31.2%		73.6%	71.9%	64.5%		24.2%	28.2%	27.3%	
営業利益	2,858	4,724	4,749	+0.5%	554	651	809	+24.3%	206	110	△79	—	3,619	5,486	5,480	△0.1%
営業利益率	8.8%	12.9%	11.7%		11.3%	12.6%	14.6%		18.7%	8.7%	△7.4%		9.4%	12.7%	11.6%	
PPA資産償却前営業利益	2,885	4,742	4,767	+0.5%	554	651	809	+24.3%	206	110	△79	—	3,645	5,504	5,498	△0.1%
PPA資産償却前営業利益率	8.9%	13.0%	11.8%		11.3%	12.6%	14.6%		18.7%	8.7%	△7.4%		9.4%	12.8%	11.7%	
うちPPA資産償却費	△26	△18	△18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△26	△18	△18	—
うち減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
技術者数（期末時点、人）	17,893	19,473	21,354	+9.7%	2,634	2,800	2,997	+7.0%	—	—	—	—	20,527	22,273	24,351	+9.3%
うち日本在住外国籍（人）	776	778	950	+22.1%	103	115	139	+20.9%	—	—	—	—	879	893	1,089	+21.9%

	海外				報告セグメント合計				全社/消去*				連結合計			
	FY22.6 1Q	FY23.6 1Q	FY24.6 1Q	前年同期比	FY22.6 1Q	FY23.6 1Q	FY24.6 1Q	前年同期比	FY22.6 1Q	FY23.6 1Q	FY24.6 1Q	前年同期比	FY22.6 1Q	FY23.6 1Q	FY24.6 1Q	前年同期比
売上高	3,469	5,928	6,406	+8.1%	42,073	48,979	53,593	+9.4%	△438	△753	△696	—	41,634	48,225	52,896	+9.7%
連結売上高に占める割合	8.3%	12.3%	12.1%		101.1%	101.6%	101.3%		△1.1%	△1.6%	△1.3%		100.0%	100.0%	100.0%	
売上総利益	827	1,577	1,728	+9.6%	10,161	13,738	14,620	+6.4%	△289	△488	△562	—	9,871	13,249	14,058	+6.1%
売上総利益率	23.9%	26.6%	27.0%		24.2%	28.0%	27.3%		—	—	—		23.7%	27.5%	26.6%	
営業利益	245	559	269	△51.7%	3,865	6,045	5,750	△4.9%	77	△38	38	—	3,942	6,007	5,788	△3.6%
営業利益率	7.1%	9.4%	4.2%		9.2%	12.3%	10.7%		—	—	—		9.5%	12.5%	10.9%	
PPA資産償却前営業利益	300	706	441	△37.5%	3,945	6,211	5,940	△4.4%	77	△38	38	—	4,023	6,172	5,978	△3.1%
PPA資産償却前営業利益率	8.6%	11.9%	6.9%		9.4%	12.7%	11.1%		—	—	—		9.7%	12.8%	11.3%	
うちPPA資産償却費	△54	△147	△172	—	△80	△165	△190	—	—	—	—	—	△80	△165	△190	—
うち減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うちPO債務変動損益・早期行使益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うちEO債務変動損益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
技術者数（期末時点、人）	2,869	3,016	3,022	+0.2%	23,396	25,289	27,373	+8.2%	—	—	—	—	23,396	25,289	27,373	+8.2%

2024年6月期 第1四半期 B/SとCFの状況

- FY24.6 1Qは、法人所得税や配当金の支払、前期末消化分の自己株式取得、Orion社の残株式取得（Put Option行使により100%子会社化）等により、CFは大きくマイナスとなったが、2Qには冬季賞与の支払があるものの、上半期のCFはプラスを見込む
- 運転資金やM&A用のコミットメントラインにより機動的な資金ニーズに対応、社債の発行登録により多様な資金調達手段を確保

FY24.6 1Q末 B/S (十億円)

現預金 32.0	借入金・社債 14.5
IFRS第16号関連資産 9.4	IFRS第16号関連負債 9.4
のれん 46.5	その他負債 43.9
PPA資産 4.0	資本合計 74.3
その他資産 50.2	(うち非支配持分 0.9)

資産合計 142.1 負債及び資本合計 142.1

ネットキャッシュ： 175億円
資本比率*： 51.6%
のれん/E レシオ*： 0.63倍
D/E レシオ*： 0.20倍
D/営業利益レシオ**： 0.59倍

FY24.6 1Q CF (百万円)

・ 営業CF	+6,063
うちPPA資産償却費	+190
うち法人所得税支払・還付（ネット）	△4,307
・ 投資CF	+72
うち有形固定資産の取得による支出	△169
うち無形資産の取得による支出	△74
・ 財務CF	△9,590
うちIFRS第16号関連リース負債の返済	△1,691
うち借入金・社債の調達・返済（ネット）	△185
うち配当金支払	△5,505
うち自己株式取得による支出	△1,423
うちOrion社の残株式取得による支出	△783

現預金増減額（換算差額 139百万円含む） △3,314

コミットメントライン (百万円)

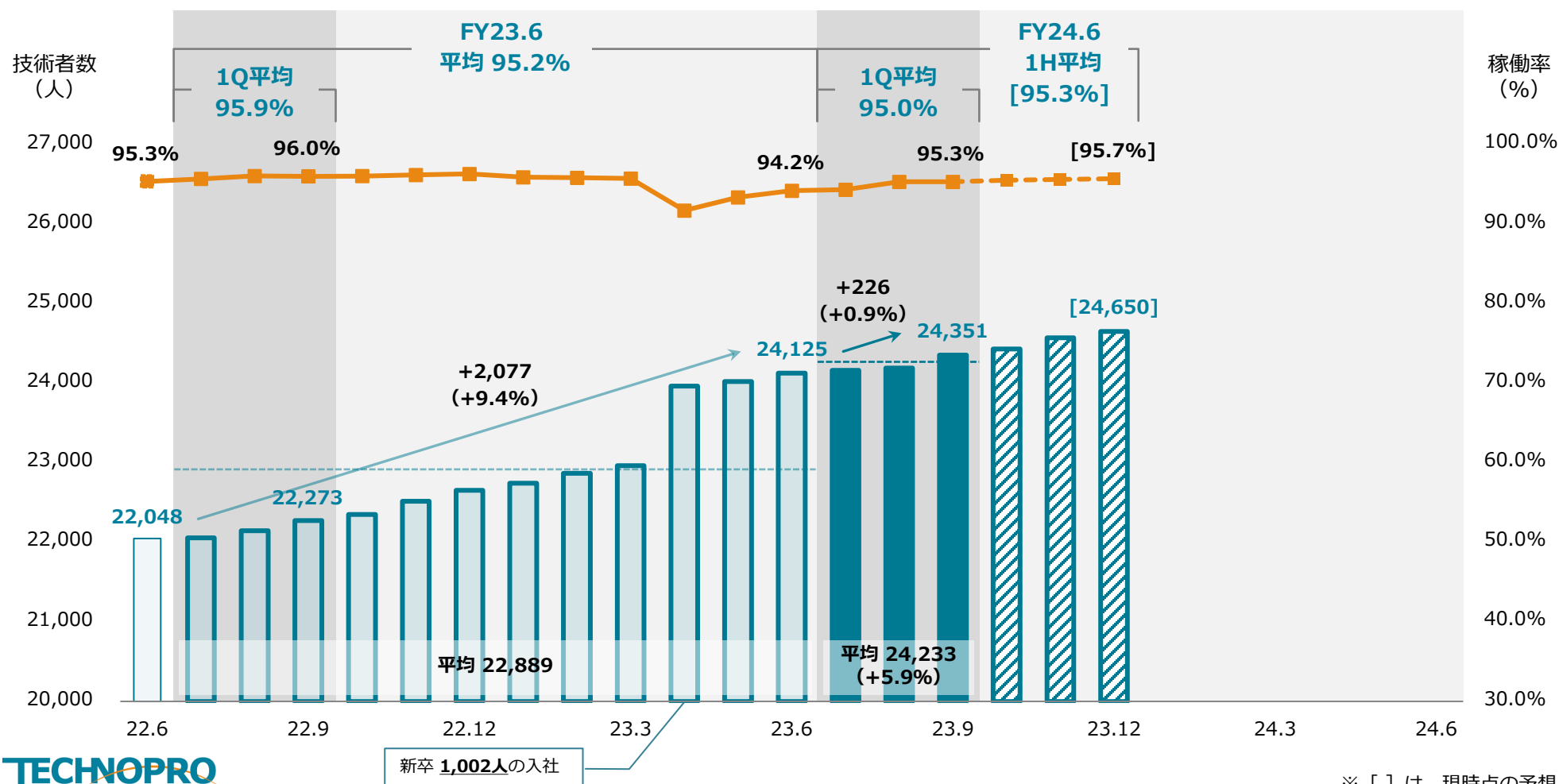
資金用途	借入枠	実行残高	未実行残高	期限
1 運転資金	8,000	0	8,000	2024年6月
2 M&A	10,000	0	10,000	2023年12月
合計	18,000	0	18,000	



* 資本（E）は、非支配持分を除く株主資本で計算
** 営業利益は、通期ガイダンスを使用

技術者数・稼働率の推移（国内）

- FY24.6 1Q末の国内技術者数は**24,351人**（FY23.6末比+226人）、うち日本在住外国籍は**1,089人**（同+23人）
- FY24.6 1Q末の稼働率は**95.3%**（前年同期比△0.7pt）、1Qの平均稼働率は**95.0%**（同△0.9pt）
- FY24.6 1Q末の海外拠点の技術者数（国内技術者数に含まず）は**3,022人**（FY23.6末比+25人）



『技術領域別』稼働技術者数（国内）

- 稼働率は許容範囲の高レベルを維持しながら、稼働技術者数は前月比で増加を続け、過去最高を更新中
- 景気後退懸念はあるものの、国内におけるR&DやIT/デジタル投資需要は全般的に強まるが見込まれるため、ソフトウェア領域を中心とした採用と研修の更なる強化により、平均売上単価の上昇を図りながら、稼働技術者数を増やすことに引き続き注力

FY23.6 1Q末

稼働技術者数：21,377人

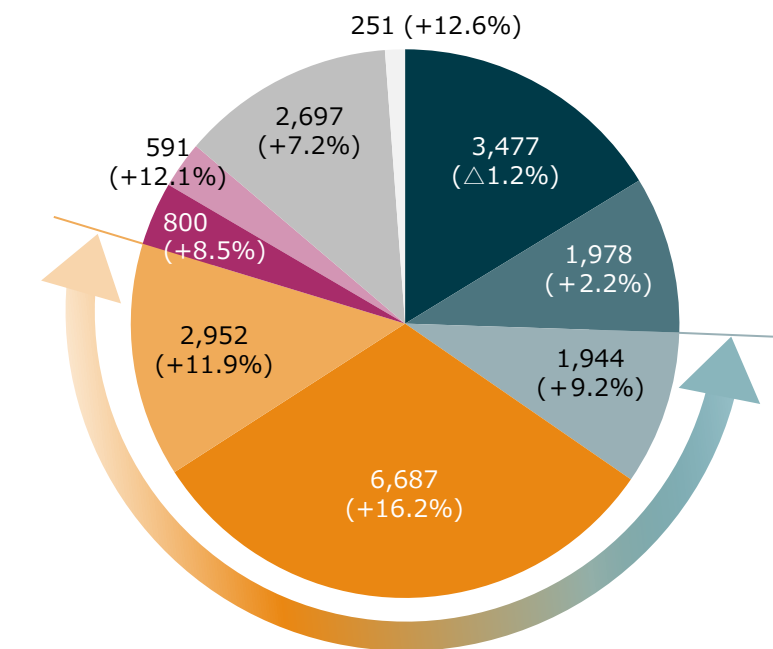
+8.6%

+1,834人

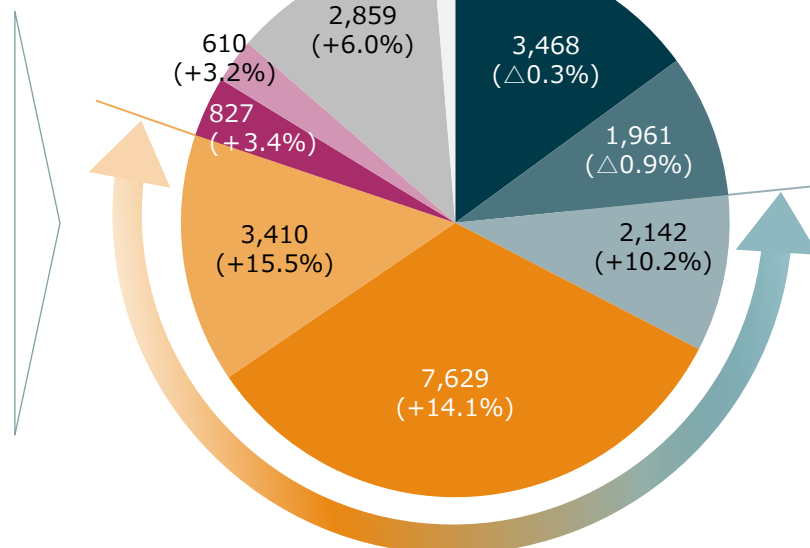
FY24.6 1Q末

稼働技術者数：23,211人

(人)



IT技術者が
占める割合：54.2% (11,583人)



IT技術者が
占める割合：56.8% (13,181人、+13.8%)

『産業分野別』稼働技術者数（国内）

- 輸送用機器メーカーによる自動運転やEV関連への投資は底堅く、また、情報産業は引き続き好調を維持
- 構造的な人材不足から、顧客によるOJT前提の未経験者オーダーや顧客のR&Dロードマップに基づく中長期オーダーも増加傾向
- 契約更新に際して積極的なシフトアップ/チャージアップを図り、派遣の契約単価（ベースチャージ）は順調に上昇

FY23.6 1Q末

稼働技術者数：21,377人

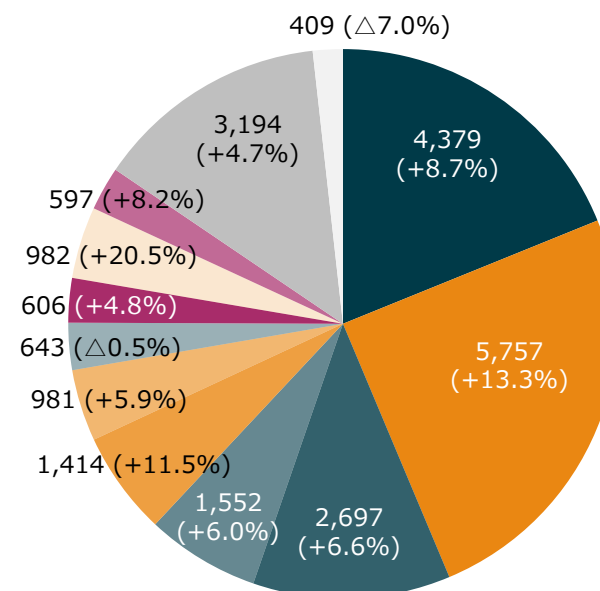
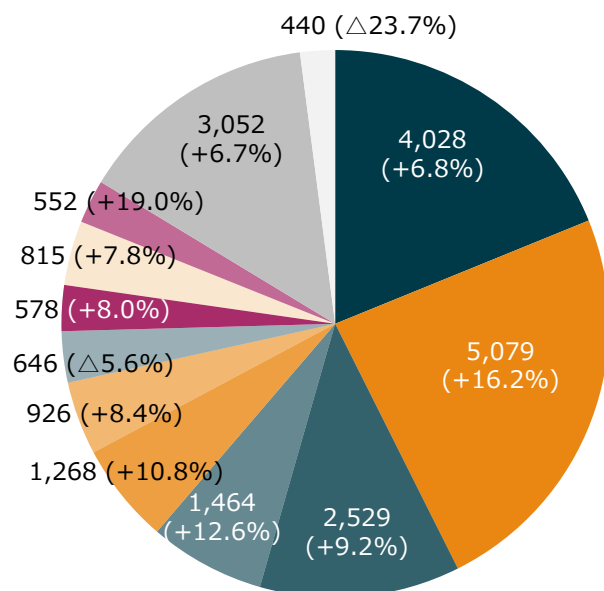
+8.6%

+1,834人

FY24.6 1Q末

稼働技術者数：23,211人

(人)

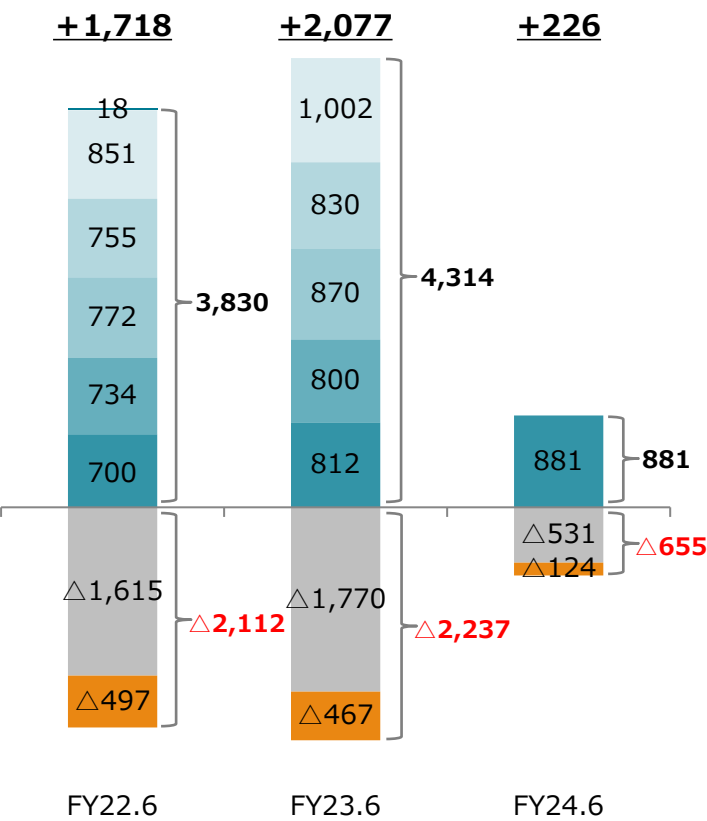


- 輸送用機器
- 情報産業
- 産業用機械
- 電子部品
- 電力/ガス/公共
- 民生品
- 医療用機器
- 素材・材料
- 金融・証券
- 医薬・化成品
- 建築・プラント
- その他

採用・退職の推移（国内）

- FY24.6 1Qの採用数は**881人**（前年同期比+69人）、2024年4月の新卒入社は**約1,000人**を現時点で見込む
- FY24.6 1Qの退職者数は**655人**（前年同期比+68人）、うち正社員 **531人**（同+91人）、契約社員 **124人**（同△23人）
- FY24.6 1Qの正社員退職率*は**8.8%**（前年同期比+0.8pt）、LTMベースでも**8.0%**となり、退職率悪化傾向は大きな経営課題
- FY24.6 1Qの純増減数は**+226人**、中途採用は順調に推移し、2Q末時点の国内技術者数を**24,650人**に上方修正（計画比+50人）

純増減数 (人)



採用数/退職者数の推移 (人)

	FY22.6	FY23.6	FY24.6	前年同期比	
全採用数	3,830	4,314	881	—	—
M&Aによる技術者獲得	18	0	—	—	—
新卒採用（4月入社）	851	1,002	—	—	—
第4四半期中途採用	755	830	—	—	—
第3四半期中途採用	772	870	—	—	—
第2四半期中途採用	734	800	—	—	—
第1四半期中途採用	700	812	881	+69	+8.5%
全退職者数	2,112	2,237	655	—	—
正社員	1,615	1,770	531	—	—
契約期間満了者等	497	467	124	—	—

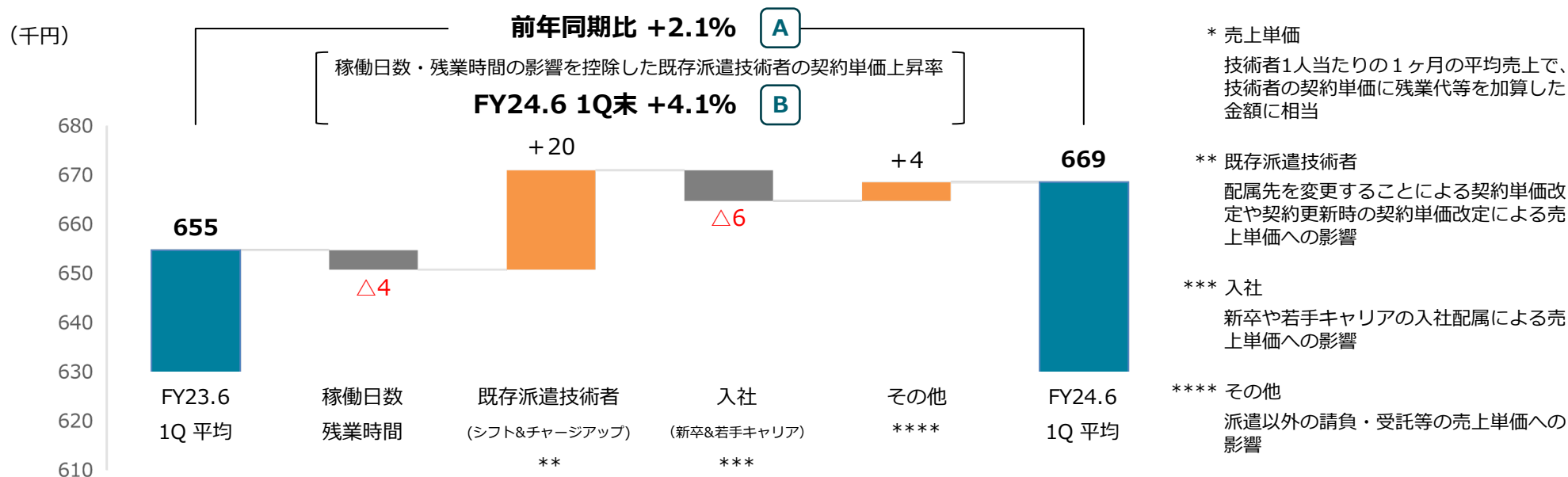
正社員退職率*の推移

	FY22.6				FY23.6				FY24.6			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
四半期	7.7%	7.1%	7.4%	8.6%	7.9%	6.0%	8.0%	8.9%	8.8%	—	—	—
今期累計 (YTD)	—	7.4%	7.4%	7.7%	—	7.0%	7.3%	7.7%	—	—	—	—
直近12ヶ月累計 (LTM)	8.1%	7.8%	7.6%	7.7%	7.8%	7.5%	7.6%	7.7%	8.0%	—	—	—

* 正社員退職率には、契約社員の契約期間満了による退職を含まず

月次平均売上単価の推移（国内）

- FY24.6 1Qの月次平均売上単価*は **669千円**（前年同期比+14千円/月、+2.1%）
- 稼働日数減・残業時間減により△4千円/月の減少、新卒及び若手キャリアの入社配属により△6千円/月の減少
- シフトアップ/チャージアップ戦略に基づく既存派遣技術者の契約単価（ベースチャージ）上昇により+20千円/月の増加
- 請負・受託業務の拡大により+4千円/月の増加



	FY23.6				FY24.6			
	1Q	2Q (累計)	3Q (累計)	4Q (累計)	1Q	2Q (累計)	3Q (累計)	4Q (累計)
平均売上単価 (千円/月)	655	661	667	669	669			
前年同期比 A	+2.4%	+1.7%	+1.4%	+1.6%	+2.1%			

スナップショット	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末
既存派遣技術者 契約単価上昇率 ※ 各四半期末時点の前年同期比 B	+3.3%	+3.4%	+3.5%	+4.0%	+4.1%			

海外子会社の状況

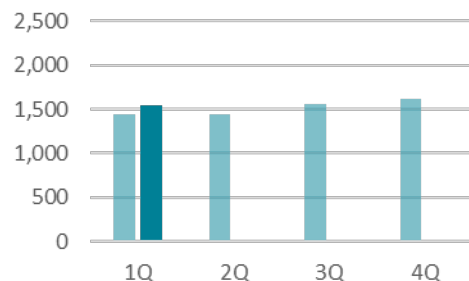
■ ■ ■ — FY23.6実績

■ ■ ■ ◆ FY24.6実績

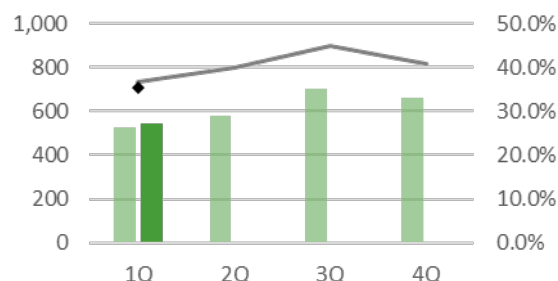
(百万円)

Robosoft社 (北米/日本/欧州/インド)

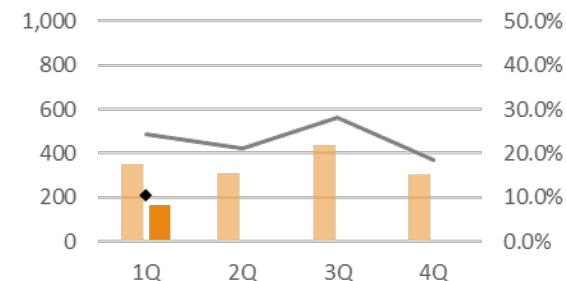
売上高



GP

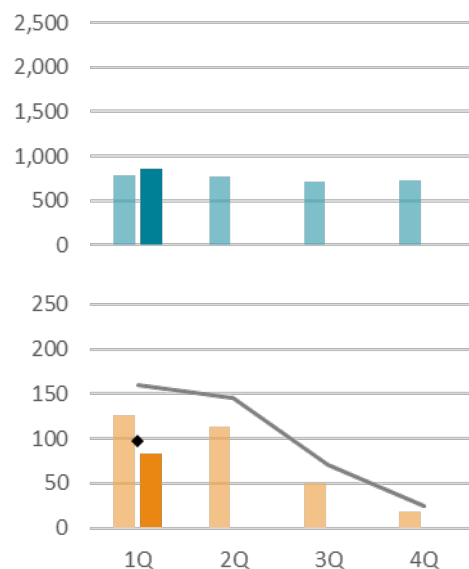


営業利益*

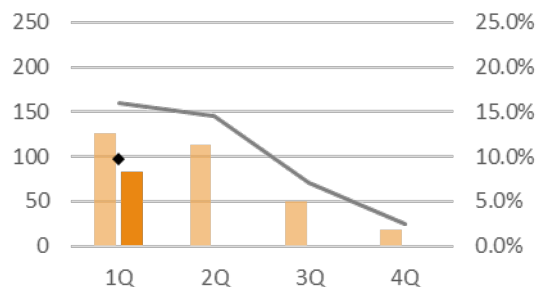


テクノプロ中国

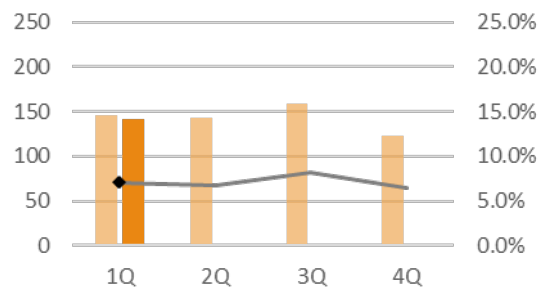
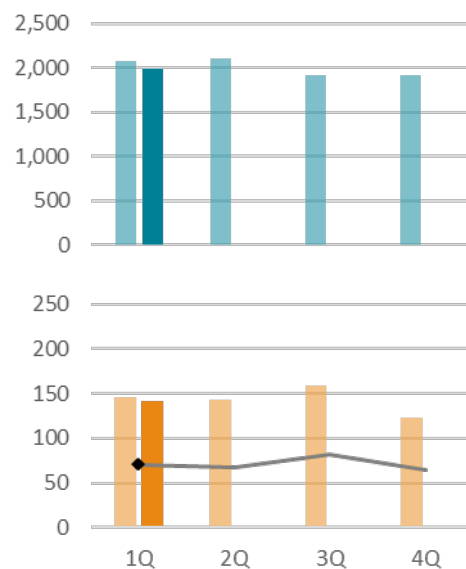
売上高



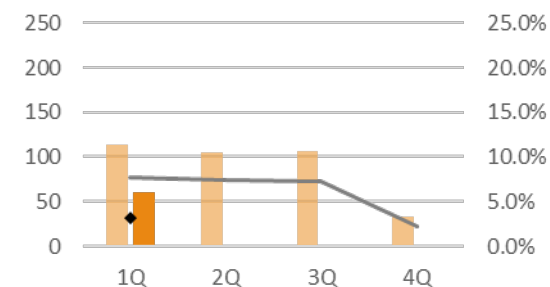
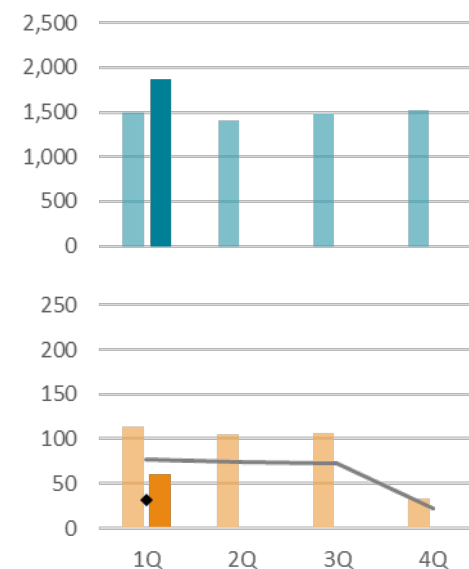
営業利益*



Helius社 (シンガポール/インド/東南アジア)



Orion社 (イギリス)



2024年6月期 業績予想 – 上半期の主要KPIのみ修正

- FY24.6は、中計3年目の当初計画を上回ることを予想し、前年比で売上高は+10.1%、事業利益は+14.6%、営業利益は+12.2%となるが、事業環境の変化に伴い、全般的にコスト上昇圧力は高まっており、販管費率の改善には少し時間を要する見込み
- 採用数減少と退職者数増加を前提に技術者数の伸びは少し弱い、売上単価上昇でカバー、若干の稼働率低下は想定範囲内

(百万円)

	上半期					通期				
	FY22.6	FY23.6	FY24.6			FY22.6	FY23.6	FY24.6		
	(実績)	(実績)	(予想)	前年同期比		(実績)	(実績)	(予想)	前年比	
売上高	86,358	98,011	107,000	+8,988	+9.2%	178,756	199,851	220,000	+20,148	+10.1%
事業利益	9,032	11,106	11,500	+393	+3.5%	19,038	21,379	24,500	+3,120	+14.6%
事業利益率	10.5%	11.3%	10.7%	△0.6pt		10.7%	10.7%	11.1%	+0.4pt	
営業利益	11,078	11,183	11,500	+316	+2.8%	20,641	21,838	24,500	+2,661	+12.2%
営業利益率	12.8%	11.4%	10.7%	△0.7pt		11.5%	10.9%	11.1%	+0.2pt	
税引前当期利益	11,229	11,124	11,500	+375	+3.4%	20,967	21,837	24,500	+2,662	+12.2%
当期利益	7,794	7,714	7,800	+85	+1.1%	15,430	15,365	16,700	+1,334	+8.7%
当期利益率	9.0%	7.9%	7.3%	△0.6pt		8.6%	7.7%	7.6%	△0.1pt	
1株当たり当期利益 (円)	72.35	71.61	72.97	+1.36	+1.9%	143.24	142.71	156.23	+13.52	+9.5%
1株当たり配当金 (円)	20.00	25.00	25.00	—	—	72.00	75.00	80.00	+5.00	+6.7%

主要KPI (国内)	上半期					通期				
	FY22.6	FY23.6	FY24.6			FY22.6	FY23.6	FY24.6		
	(実績)	(実績)	(修正予想)	前年同期比		(実績)	(実績)	(予想)	前年比	
技術者数 (期末時点、人)	20,776	22,653	24,650	+1,997	+8.8%	22,048	24,125	25,900	+1,775	+7.4%
採用数 (人) *	1,452	1,612	1,700	+88	+5.5%	3,830	4,314	4,200	△114	△2.6%
平均稼働率	95.6%	96.0%	95.3%	△0.7pt	—	95.3%	95.2%	94.7%	△0.5pt	—
月次平均売上単価 (千円/月)	650	661	677	+16	+2.4%	658	669	683	+14	+2.1%

* 4月入社新卒 (FY22.6 : 851人、FY23.6 : 1,002人) 及びM&Aによる獲得 (FY22.6 : 18人) を含む

参考）2024年6月期 セグメント別業績予想（通期）

- ・ R&Dアウトソーシング：売上高は前年並みの成長を見込むが、コスト上昇圧力から、利益率の改善幅は前年に比べると少し鈍化
- ・ 施工管理アウトソーシング：売上単価上昇にこだわり、稼働人数の成長を超える売上高の成長及び利益率の更なる改善を目指す
- ・ 国内その他：外資系企業向け人材紹介は景気動向に左右されるが、好調が見込まれる技術者向け教育研修と国内人材紹介でカバー
- ・ 海外：Robosoft社はまだ投資フェーズにあるものの、海外事業全体の成長をけん引し、前年からの大幅な利益回復を図る

（百万円）

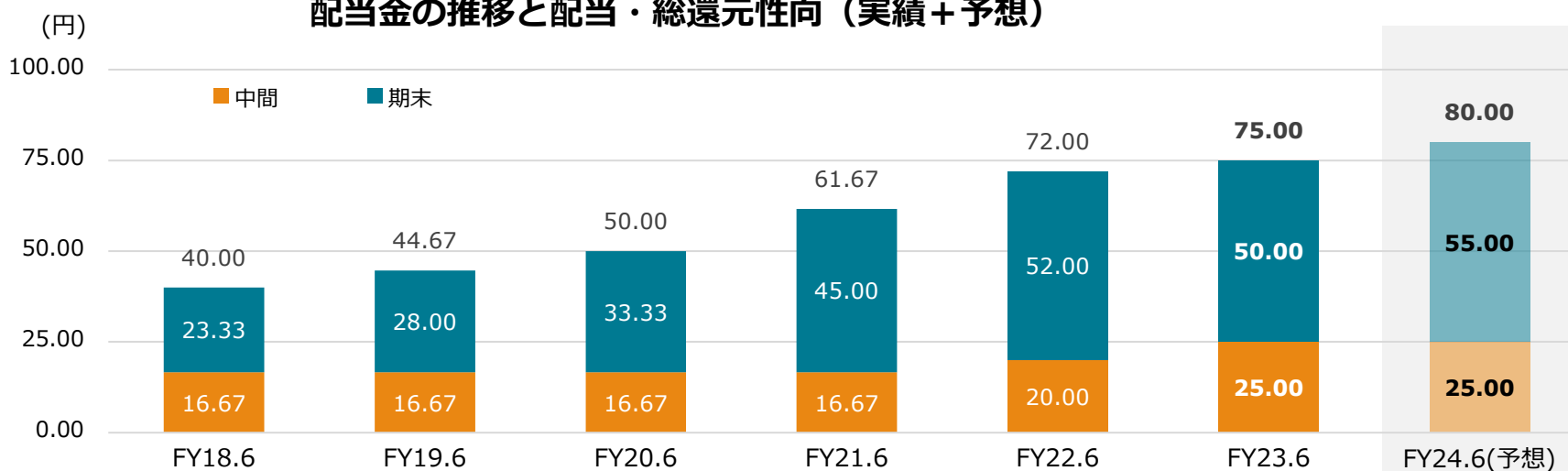
	R&Dアウトソーシング				施工管理アウトソーシング				国内その他				国内小計			
	FY22.6	FY23.6	FY24.6	前年比	FY22.6	FY23.6	FY24.6	前年比	FY22.6	FY23.6	FY24.6	前年比	FY22.6	FY23.6	FY24.6	前年比
売上高	137,471	152,858	169,000	+10.6%	20,311	21,643	23,500	+8.6%	4,898	5,569	5,700	+2.3%	162,682	180,071	198,200	+10.1%
連結売上高に占める割合	76.9%	76.5%	76.8%		11.4%	10.8%	10.7%		2.7%	2.8%	2.6%		91.0%	90.1%	90.1%	
営業利益	14,151	16,292	18,300	+12.3%	2,489	2,930	3,300	+12.6%	672	561	600	+6.9%	17,313	19,784	22,200	+12.2%
営業利益率	10.3%	10.7%	10.8%		12.3%	13.5%	14.0%		13.7%	10.1%	10.5%		10.6%	11.0%	11.2%	
PPA資産償却前営業利益	14,626	16,365	18,373	+12.3%	2,489	2,930	3,300	+12.6%	672	561	600	+6.9%	17,788	19,856	22,273	+12.2%
PPA資産償却前営業利益率	10.6%	10.7%	10.9%		12.3%	13.5%	14.0%		13.7%	10.1%	10.5%		10.9%	11.0%	11.2%	
技術者数（期末時点、人）	19,257	21,163	22,770	+7.6%	2,791	2,962	3,130	+5.7%	—	—	—	—	22,048	24,125	25,900	+7.4%
うち日本在住外国籍（人）	788	930	—	—	110	136	—	—	—	—	—	—	898	1,066	—	—

	海外				報告セグメント合計				全社/消去*				連結合計			
	FY22.6	FY23.6	FY24.6	前年比	FY22.6	FY23.6	FY24.6	前年比	FY22.6	FY23.6	FY24.6	前年比	FY22.6	FY23.6	FY24.6	前年比
売上高	18,976	23,508	26,500	+12.7%	181,658	203,580	224,700	+10.4%	△2,902	△3,728	△4,700	—	178,756	199,851	220,000	+10.1%
連結売上高に占める割合	10.6%	11.8%	12.0%		101.6%	101.9%	102.1%		△1.6%	△1.9%	△2.1%		100.0%	100.0%	100.0%	
営業利益	1,925	1,873	2,300	+22.7%	19,239	21,658	24,500	+13.1%	1,401	179	0	—	20,641	21,838	24,500	+12.2%
営業利益率	10.1%	8.0%	8.7%		10.6%	10.6%	10.9%		—	—	—		11.5%	10.9%	11.1%	
PPA資産償却前営業利益	2,381	2,460	2,903	+18.0%	20,170	22,317	25,176	+12.8%	△416	124	0	—	19,754	22,441	25,176	+12.2%
PPA資産償却前営業利益率	12.6%	10.5%	11.0%		11.1%	11.0%	11.2%		—	—	—		11.1%	11.2%	11.4%	
技術者数（期末時点、人）	2,851	2,997	—	—	24,899	27,122	—	—	—	—	—	—	24,899	27,122	—	—

株主還元

- 中間配当及び期末配当を年2回安定的に行うことを基本とし、**年間の配当性向は50%以上**、また年間ベースでの累進配当を意識しながら、FY24.6の年間配当は1株当たり80円（前年比+5円、配当性向51.2%）を予想
- FY23.6 4Qに設定した**30億円の自己株式取得枠**（取得期間2023年5月1日～9月29日）のうち、FY23.6 4Qに15.8億円、FY24.6 1Qに残り14.2億円をそれぞれ取得して、今回のプログラムは終了（平均取得株価 3,397円、取得株式数 883,100株）

配当金の推移と配当・総還元性向（実績＋予想）

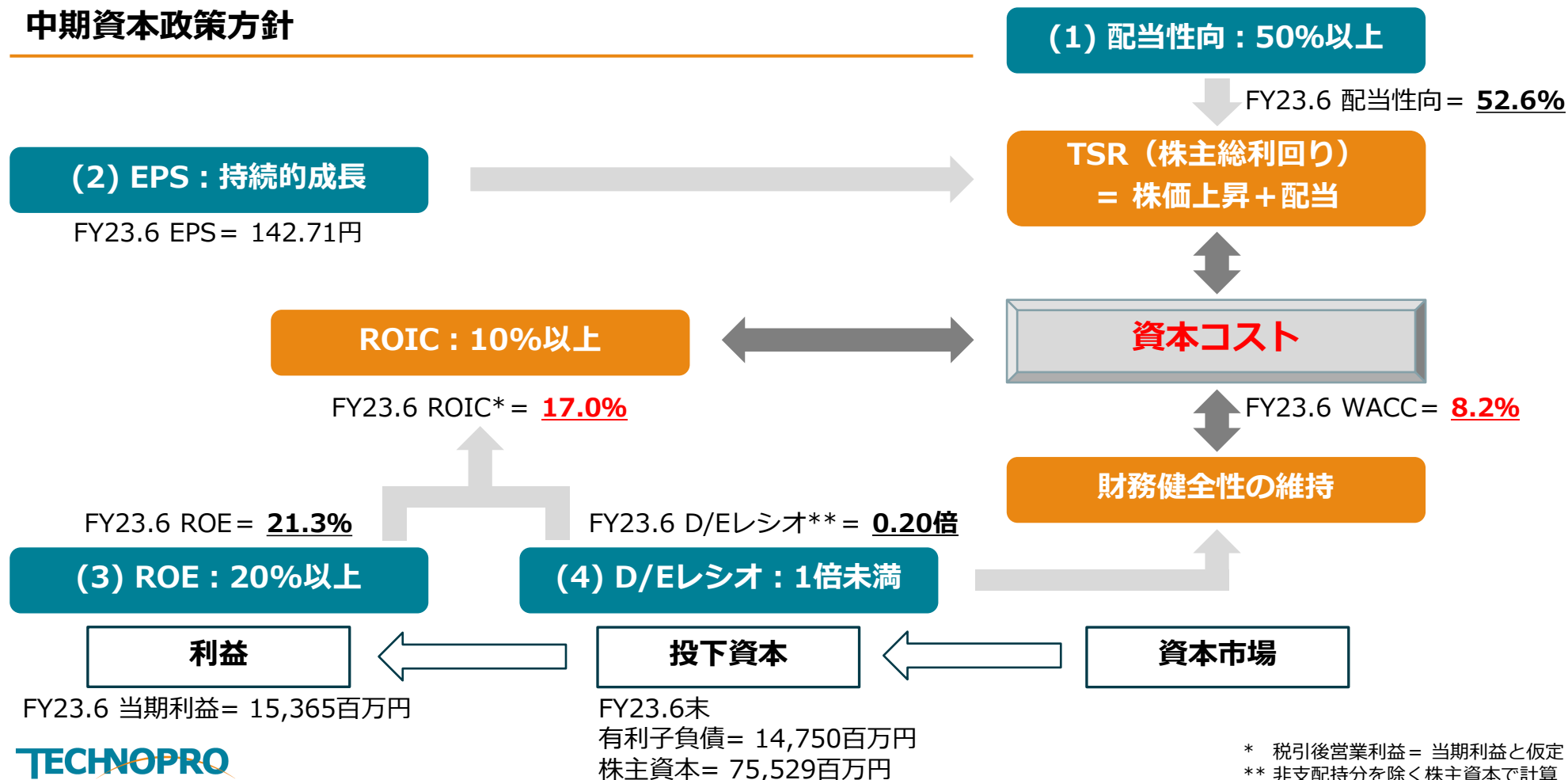


ROE	24.5%	22.4%	23.3%	25.1%	24.5%	21.3%	22.1%
EPS (円)	81.60	88.95	99.99	122.96	143.24	142.71	156.23
配当性向	50.0%	50.2%	50.0%	50.2%	50.3%	52.6%	51.2%
配当総額 (百万円)	4,250	4,864	5,397	6,643	7,756	8,055	8,547
自己株式取得額 (百万円)	—	—	2,063	—	—	1,576	1,423
@平均取得株価 (円)	—	—	1,647.67	—	—	3,313.68	3,494.47
総還元性向	50.0%	50.2%	68.9%	50.2%	50.3%	62.7%	59.7%

参考) 資本政策

- 以下の4つの資本政策では、財務健全性を維持しながら価値を創造 (ROIC > 資本コスト)することに注力し、TSRを強く意識
- 50%配当還元後のフリーキャッシュフローは、M&A等の成長投資に充当する予定だが、資本コストを上回る十分なリターンを確保できる投資機会がしばらく見込まれないようであれば、資本効率性の観点から自己株式取得による株主還元も柔軟に検討

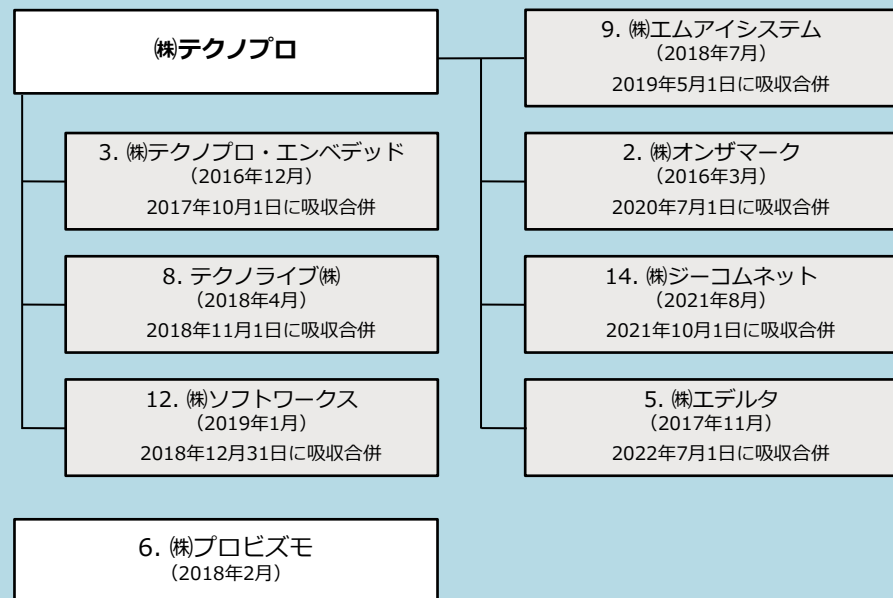
中期資本政策方針



Appendix) セグメント表（2024年6月期 第1四半期末現在）

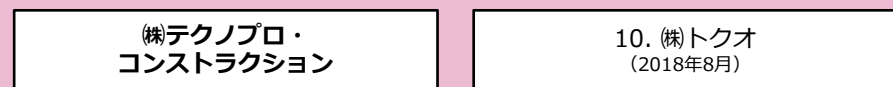
R&Dアウトソーシング

機械・電気・電子、組込制御、ITネットワーク、ビジネスアプリケーション、システム保守運用、生化学等の技術領域において、技術者派遣及び請負業務を提供



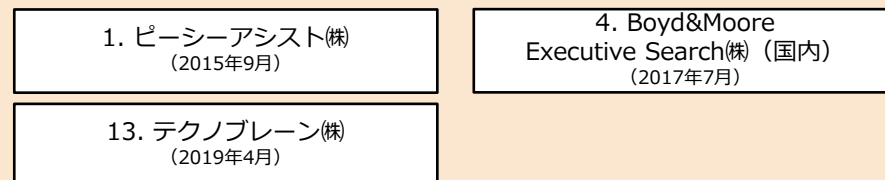
施工管理アウトソーシング

建築・土木・設備電気・プラント領域における施工管理（安全管理、品質管理、工程管理、原価管理）の技術者派遣業務、建設図面作成の請負業務を提供



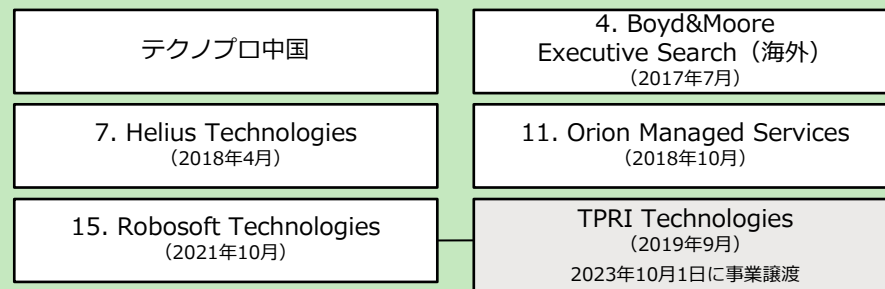
国内その他

人材紹介業務、技術系教育研修業務を提供



海外

中国にて技術アウトソーシング及び人材紹介業務、東南アジア・インドにて技術者派遣及び受託開発業務（欧米や日本の顧客へのオフショア・デリバリーを含む）、英国にて技術者派遣及び人材紹介業務を提供



本社機能

グループ会社に対して主に管理業務を提供、障がい者雇用事業を展開



Appendix) リスク資産（2024年6月期 第1四半期末現在）

- ・ R&D/施工管理アウトソーシング：主なのれん（**292億円**）は、投資ファンドと経営陣によるMBO時に生じたもので、COVID-19の影響を反映して新たに試算した使用価値は各CGUの帳簿価額を大きく上回っており、**減損リスクは極めて低い**
- ・ R&Dアウトソーシング：M&Aで新たに生じたのれん（**40億円**）も、MBO時のCGUに統合されており、**減損リスクは極めて低い**
- ・ Helius社：少数株主（持分49%）に付与されたPut Optionは期限内に行使されず、当社との共同保有が継続
- ・ Orion社：FY24.6 1Qに少数株主（持分16.8%）がPut Optionを行使し、株式持分は100%に増加、PO債務は消滅済み
- ・ Robosoft社：FY23.6 1Qに残り20%株式を取得し、株式持分は100%に増加、株式取得債務は消滅済み

（百万円）

資金生成単位（CGU）	株式持分	のれん				PPA資産		PO・株式取得債務	
		MBO	M&A*	合計	割合	M&A*	償却期間	M&A	価値算定期間
R&Dアウトソーシング									
機械・電気・電子領域	100.0%	13,674	977	14,651	31.5%				
組込制御、ITインフラ領域	100.0%	7,969		7,969	17.1%				
ソフト開発・保守領域	100.0%	2,912	3,006	5,919	12.7%	482	～32.7月		
化学、生化学領域	100.0%	1,262		1,262	2.7%				
施工管理アウトソーシング									
施工管理領域	100.0%	3,383		3,383	7.3%				
トクオ	100.0%		190	190	0.4%				
国内その他									
ピーシーアシスト	100.0%		96	96	0.2%				
Boyd&Moore Executive Search	100.0%		1,104	1,104	2.4%				
テクノブレーン	100.0%		151	151	0.3%				
海外									
Helius	51.0%		936	936	2.0%	427	～26.3月		
Orion	100.0%		1,325	1,325	2.8%	246	～26.9月		
Robosoft	100.0%		9,559	9,559	20.5%	2,919	～31.9月		
合計		29,202	17,348	46,550	100.0%	4,077		0	

目次

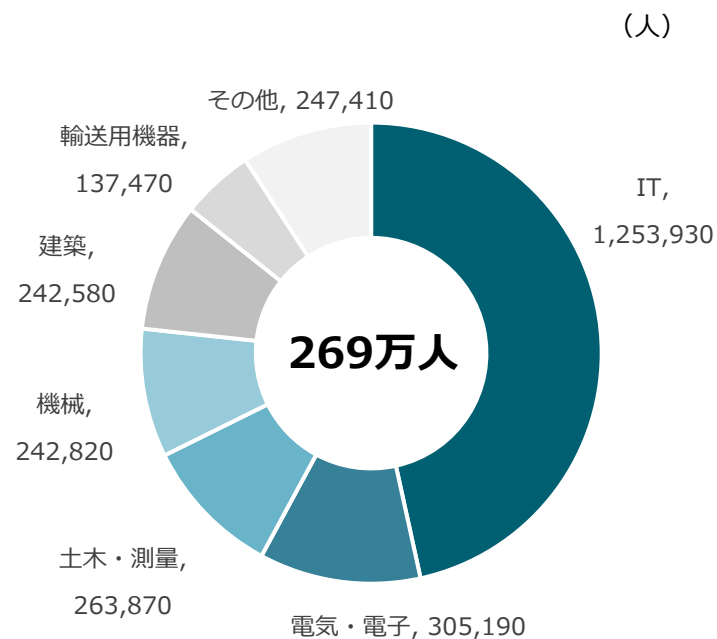
	Page
I : 業績概要	2
II : KPI分析（国内）	7
i : 技術者数・稼働率	7
ii : 売上単価	11
III : 海外子会社の状況	12
IV : 業績予想	13
V : 株主還元	15
VI : Appendix	17
VII : データ資料集	20

日本の技術者の分布

- 2020年の国勢調査によると、日本の技術者数は269万人（うち47%をIT技術者が占める）、5年前に比べて26万人増加
- 日本は他国と比べ、技術者を自社で抱えず、外部委託（アウトソース）する割合が高い

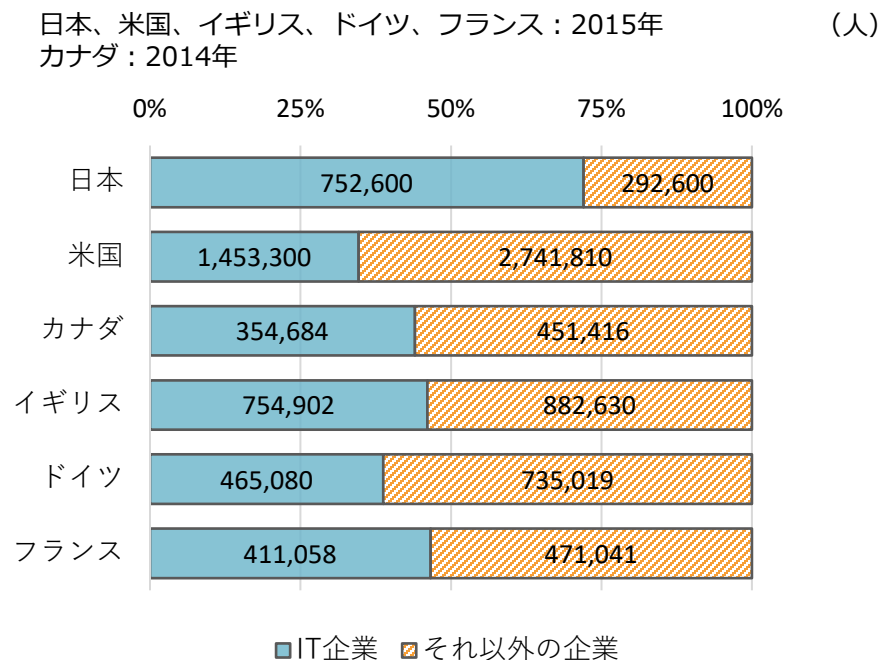
1. 日本の技術者数（2020年）

出典：『令和2年国勢調査』より当社作成



2. IT企業とそれ以外の企業に所属するIT人材の割合

出典：独立行政法人情報処理通信機構『IT人材白書2017』



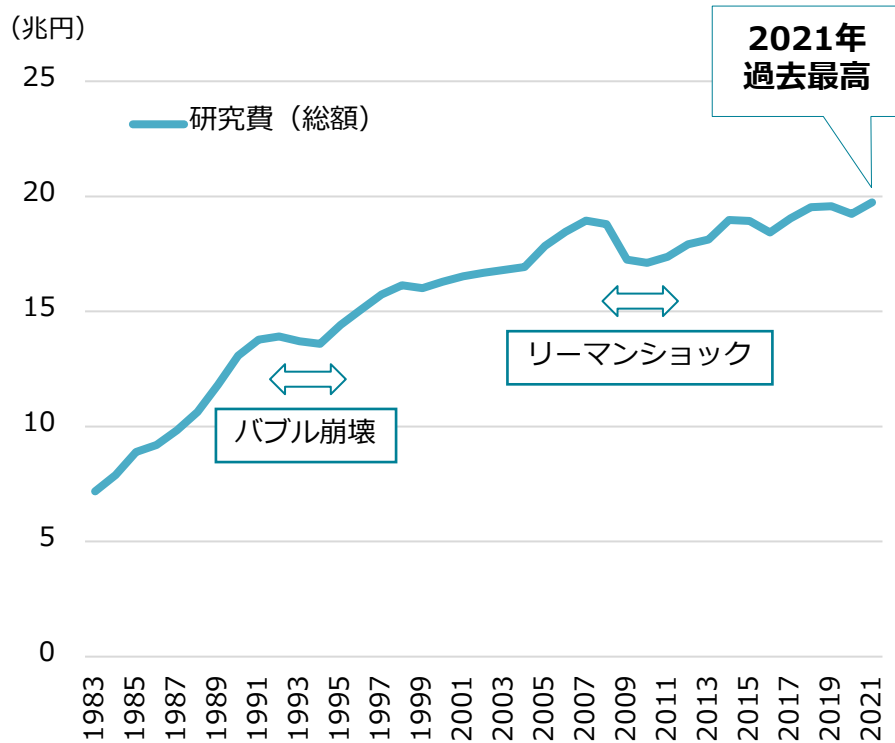
※ 「IT企業」はITベンダー、「それ以外の企業」はITを使用するユーザー企業を指す

研究開発費・ICT投資額の推移

- 研究開発は景気の影響を受けにくく、2021年は過去最高の国内研究開発費19.7兆円を記録し、今後も増加する見込み
- 日本のICT投資は、ハードウェアからソフトウェアに徐々に移行している

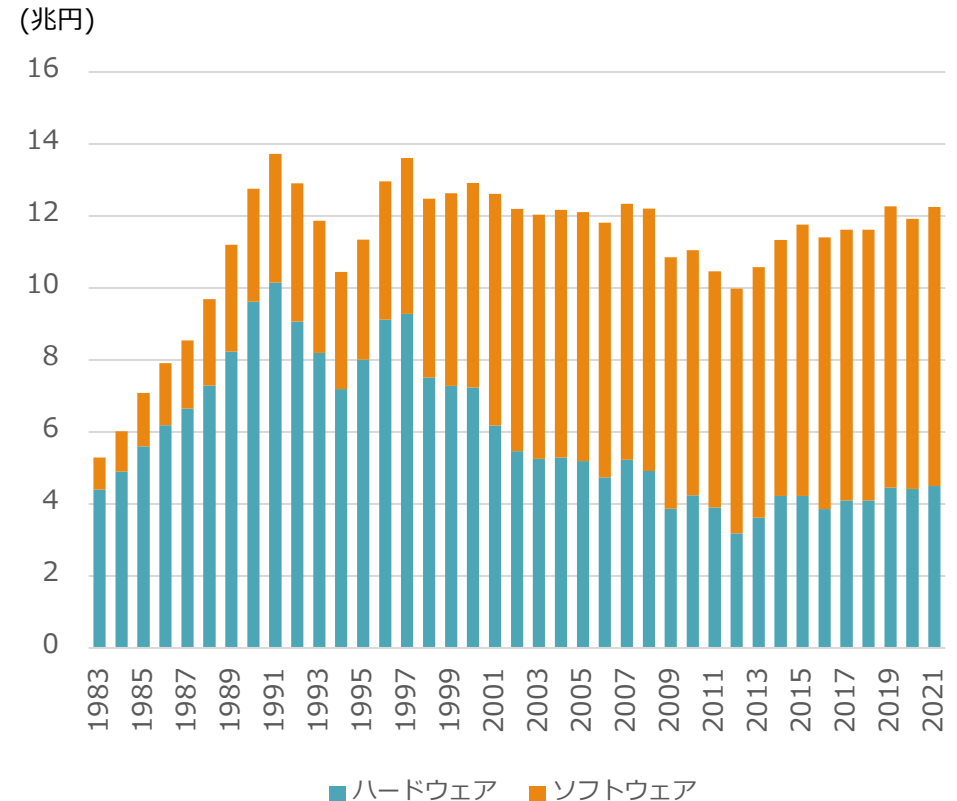
3. 国内研究開発費の推移

出典：総務省統計局『科学技術研究調査結果』より当社作成



4. 国内ICT投資額のハード/ソフト内訳

出典：内閣府『国民経済計算』より当社作成

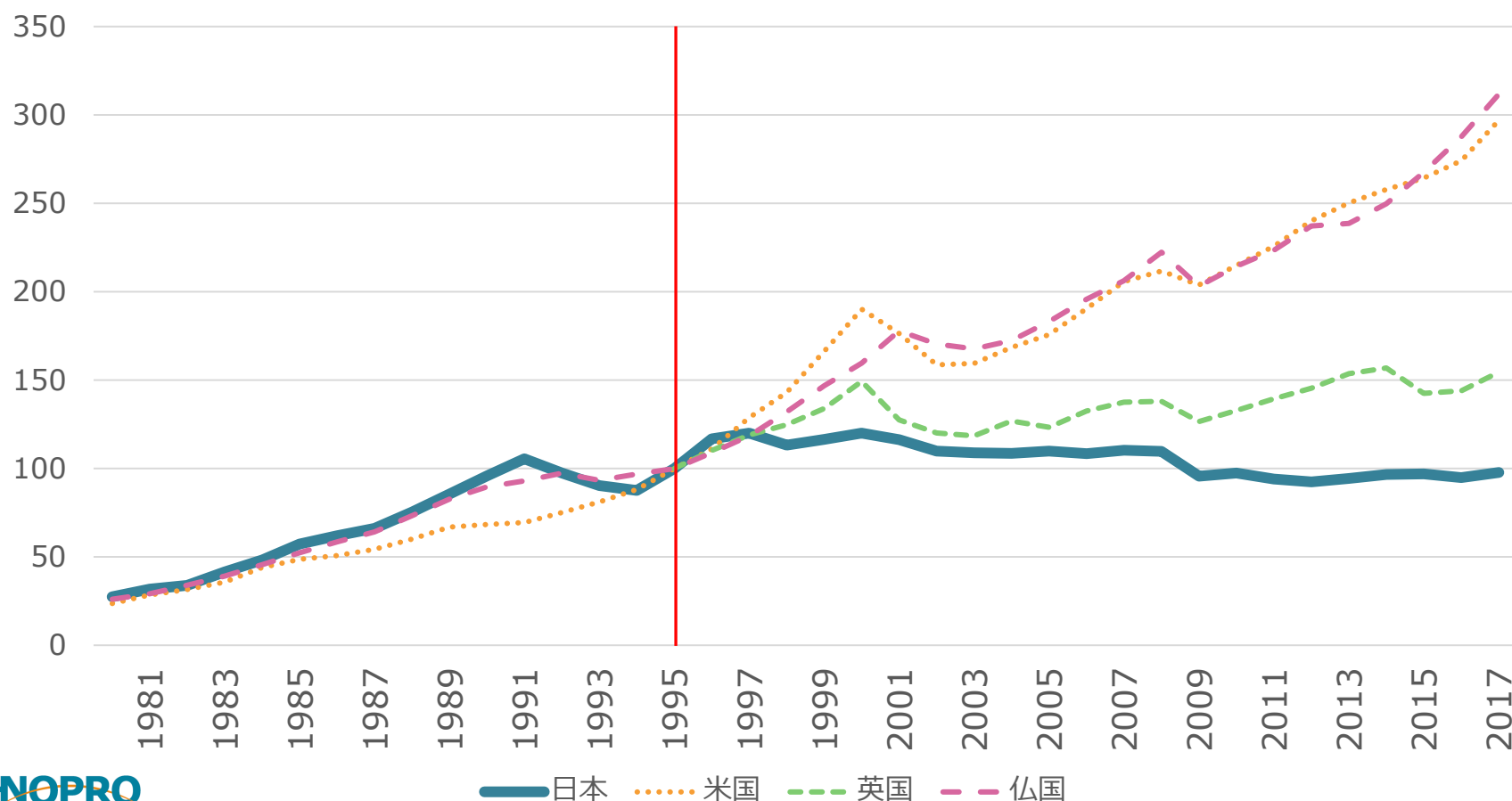


日本のデジタル化の遅れ

- 日本のICT投資額は、1995年対比で米国、英国及び仏国と比較して極めて低い伸び
- 日本のデジタル化の遅れがCOVID-19により再認識され、日本における今後のICT投資の拡大が見込まれる

5. 各国のICT投資額の推移比較（名目、1995年 = 100）

出典：総務省『情報通信白書 令和元年版』



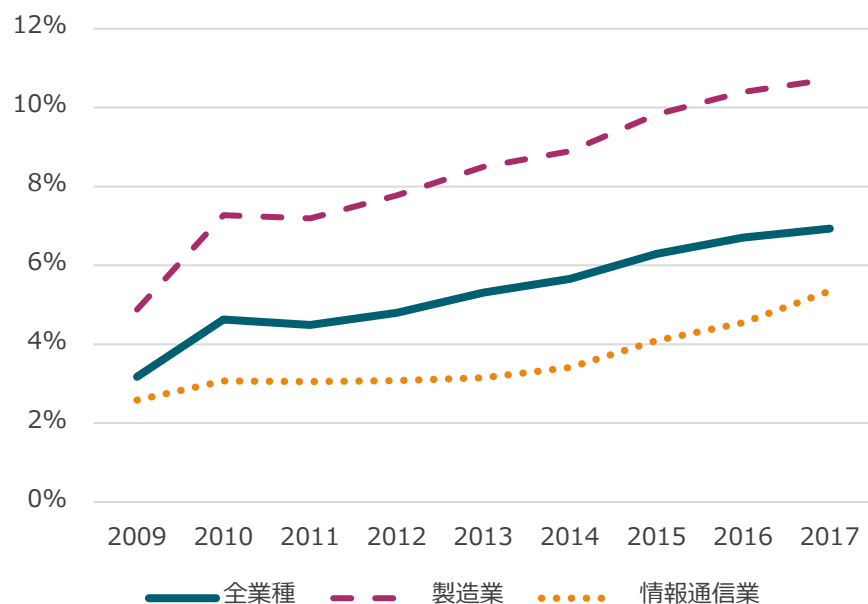
研究開発・情報処理関連における外部委託状況

- 全般的に、研究開発・情報処理関連の外部委託率は増加傾向
- 特に、情報通信業でも、情報処理関連業務を外部委託する割合が高い

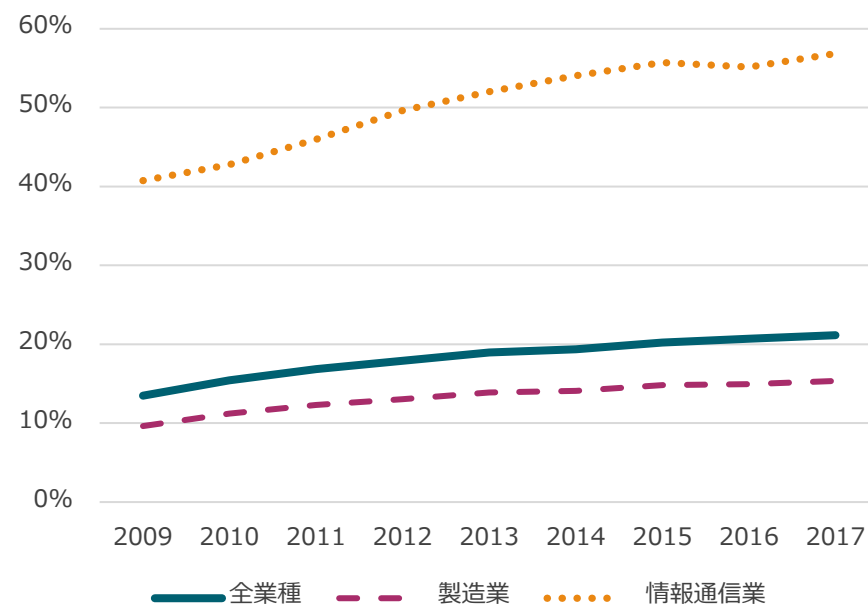
6. 業種ごとの外部委託状況

出典：経済産業省 企業活動基本調査、同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2020年

研究開発関連



情報処理関連

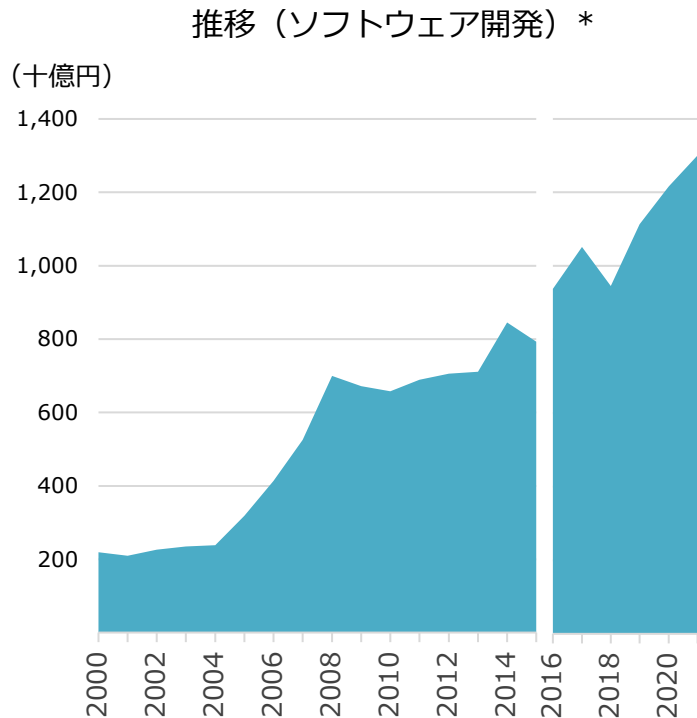


技術系人材サービスの市場規模と推移

- 日本の技術者派遣の推定市場規模（2021年）は約2.4兆円（前年比+4.7%）、うちソフトウェア開発は約1.3兆円（同+7.0%）
- 矢野経済研究所による将来予測では、技術者派遣市場は2021年度～2025年度（予測値）まで年平均成長率7.2%を見込む

7. 技術者派遣市場

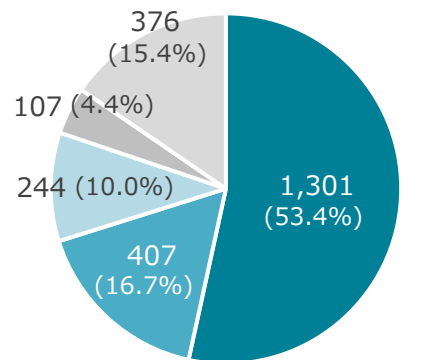
出典：厚生労働省発表に基づき当社試算



＊ 2015年9月に職種の分類が変更されたため、データが断続

2021年 市場規模
2兆4,349億円

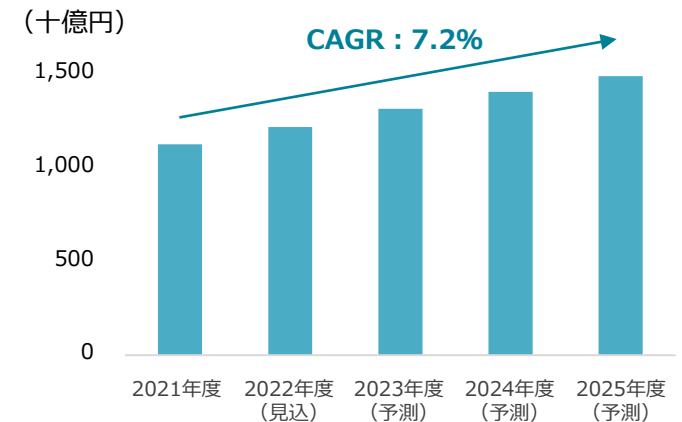
内訳



- 10 情報処理・通信技術者
- 0708 製造技術者
- 09 建築・土木・測量技術者
- 05 研究者
- 11 その他の技術者

8. 技術者派遣市場の将来予測

出典：株式会社矢野経済研究所『人材ビジネスの現状と展望2022年版 PART2 業種・職種別人材サービス編』



※ 事業者売上高ベース、2022年度は見込値、2023年度以降は予測値（2022年10月現在）

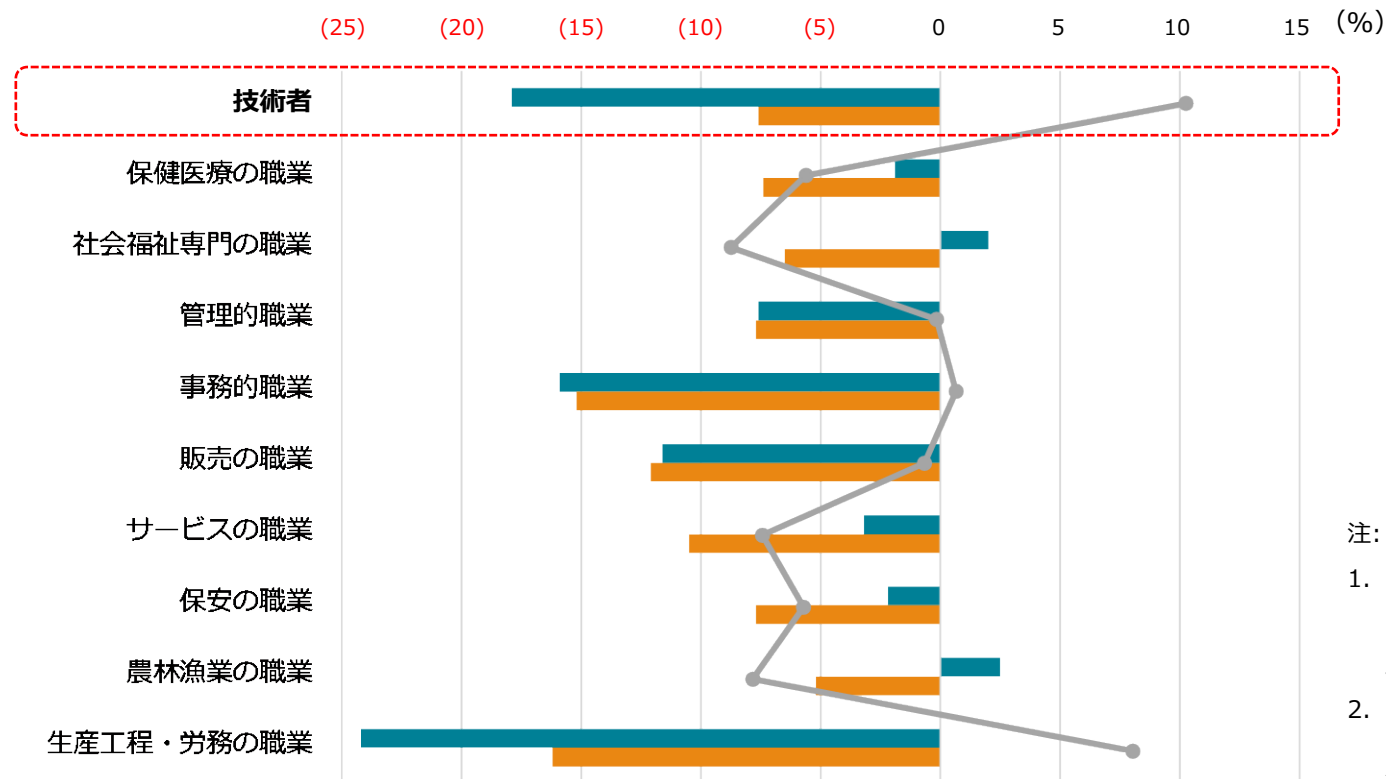
注：矢野経済研究所が独自の調査に基づいて算出した大規模事業者を中心とした市場規模であり、市場全体よりも伸び率が高い可能性あり

技術系人材サービスの外的ショックへの耐性

- リーマンショック時と比較すると、今回のCOVID-19第一波における技術者に対する新規求人への影響は大幅に小さかった
- 過去10年間で技術系人材の重要性が高まった、あるいは競争力維持のためのR&DやITシステム開発の優先度合が高まった可能性を示唆しており、当社ビジネスの底堅さを裏付けている

9. 外的ショック半年後の新規求人数の増減率とその変化

出典：厚生労働省『一般職業紹介状況（新規求人：パート除く常用）』、同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2020年



注:

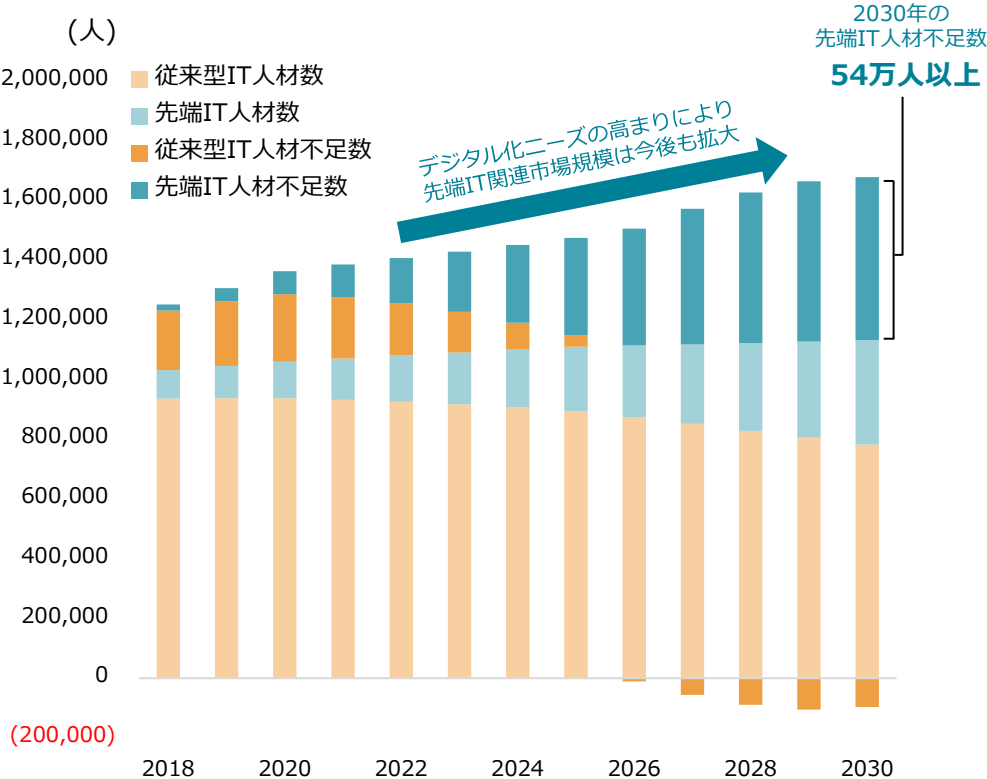
- リーマンショック、COVID-19の影響が、それぞれ発生後6ヶ月経った時点で、各職種に対する新規求人数指数にどの程度表れているのかを比較したもの
- リーマンショック半年後の指数値は2008年9月を100、COVID-19半年後の指数値は2020年1月を100とした指数（季節調整済み）

技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性① ニーズの増加

- ・ 需給のミスマッチは特にIT人材で大きく、今後は先端IT人材（AI、ビックデータ、IoT等の担い手）の不足がより顕著となる傾向
- ・ AI普及によるエンジニア需要の減退については、新規に創造される需要の方が多い見込み

10. IT人材の不足規模に関する予測

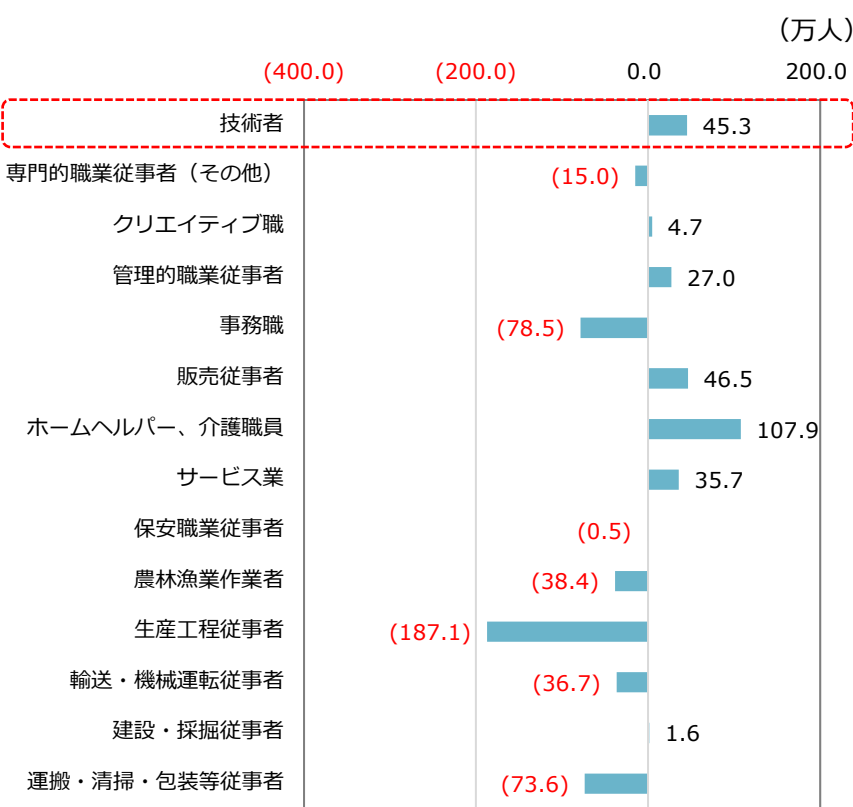
出典：経済産業省委託事業 みずほ情報総研株式会社『IT 人材需給に関する調査（2019年3月）』より当社作成



※ IT需要の伸び「中位」、生産性上昇率「0.7%」（Reスキル率：1.0%）

11. AIの進展等による就業者の増減

出典：厚生労働省 平成29年版労働経済白書『労働経済の分析－イノベーションの促進とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた課題－』



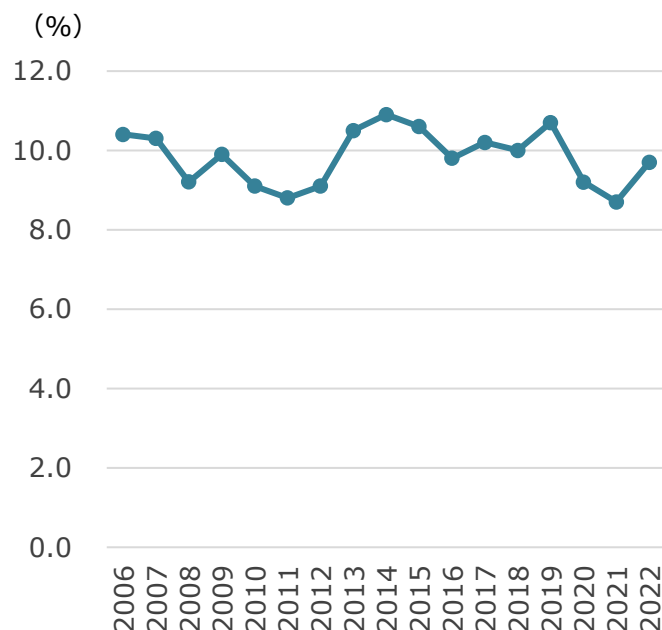
※ 職種別の就業者数は、2015年と2030年を比較した際の推計値

技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性② 中途採用市場

- 日本全体の転入職率は10%前後で推移しており、転職市場は一定の規模がある（技術者に限っては、年間20万人以上）
- IT技術者の転入職率は、相対的にその他技術者に比べて高い傾向

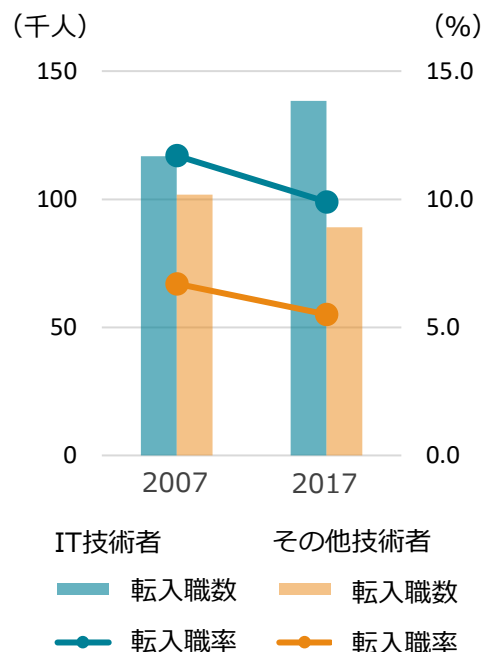
12. 転入職率の推移

出典：厚生労働省『雇用動向調査』より当社作成



13. 技術者の転入職率

出典：同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2019年『「日本の技術者の転入職者率の近年の特徴」調査報告書』



	1997	2007	2017
全職種	11.0	11.7	10.7
技術者	7.5	8.7	7.5
うちIT技術者		11.7	9.9
うちその他技術者		6.7	5.5

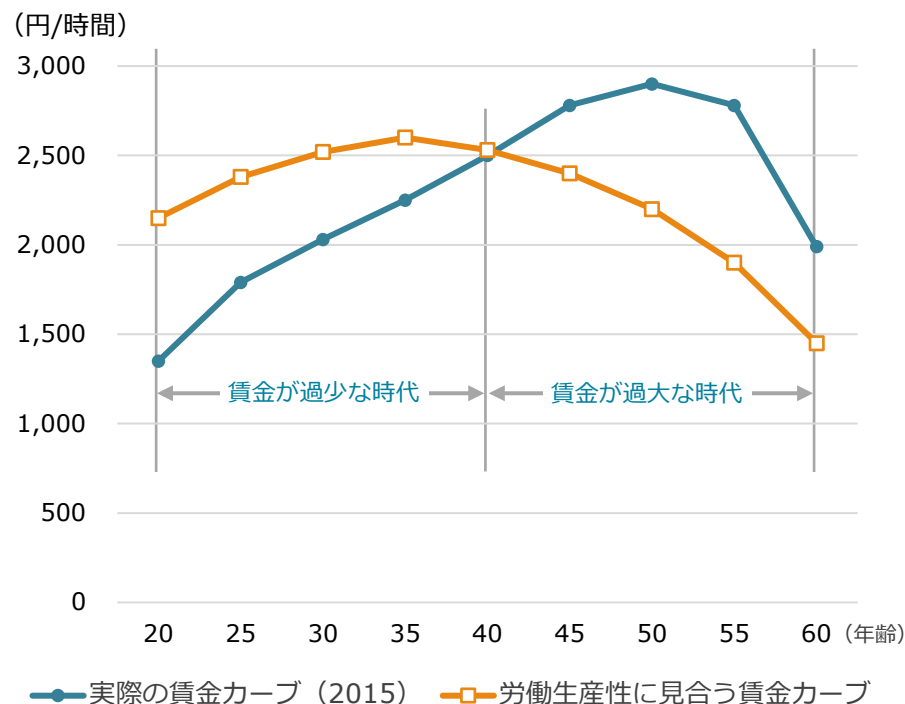
	1997	2007	2017
全職種	7,391	7,717	7,066
技術者	178	219	228
うちIT技術者		117	138
うちその他技術者		102	89

技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性② 中途採用市場（続き）

- 年功賃金と終身雇用が根強く残り、若年層の賃金は相対的に低く、中年以降で管理職になることで賃金が上昇
- 生産性と賃金の乖離から、大手企業の中途採用数は限定的

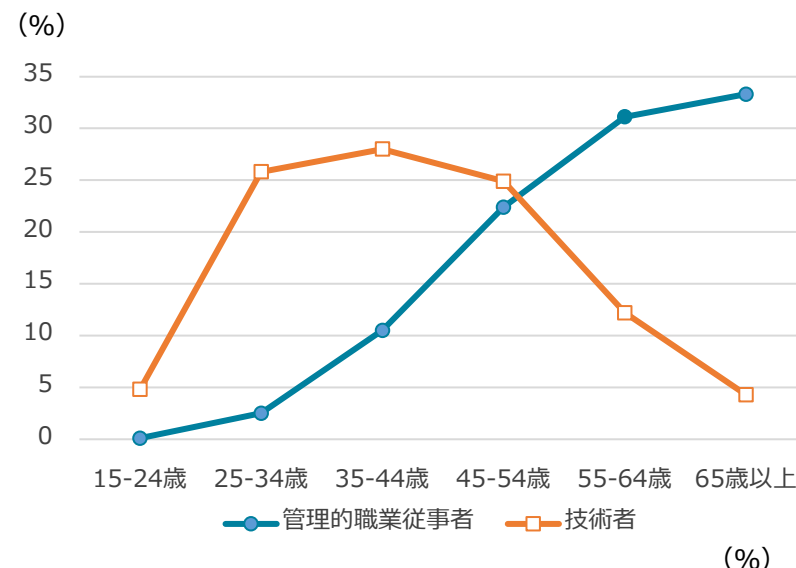
14. 年功賃金型賃金カーブと、労働生産性に見合う賃金カーブ（1時間あたり）

出典：三菱UFJモルガン・スタンレー証券投資情報部
『エクイティリサーチ転載レポート』2017年5月1日



15. 職種別年齢構成比較：管理職・技術職（2017年）

出典：同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2019年
『「日本の技術者の転入職者率の近年の特徴」調査報告書』



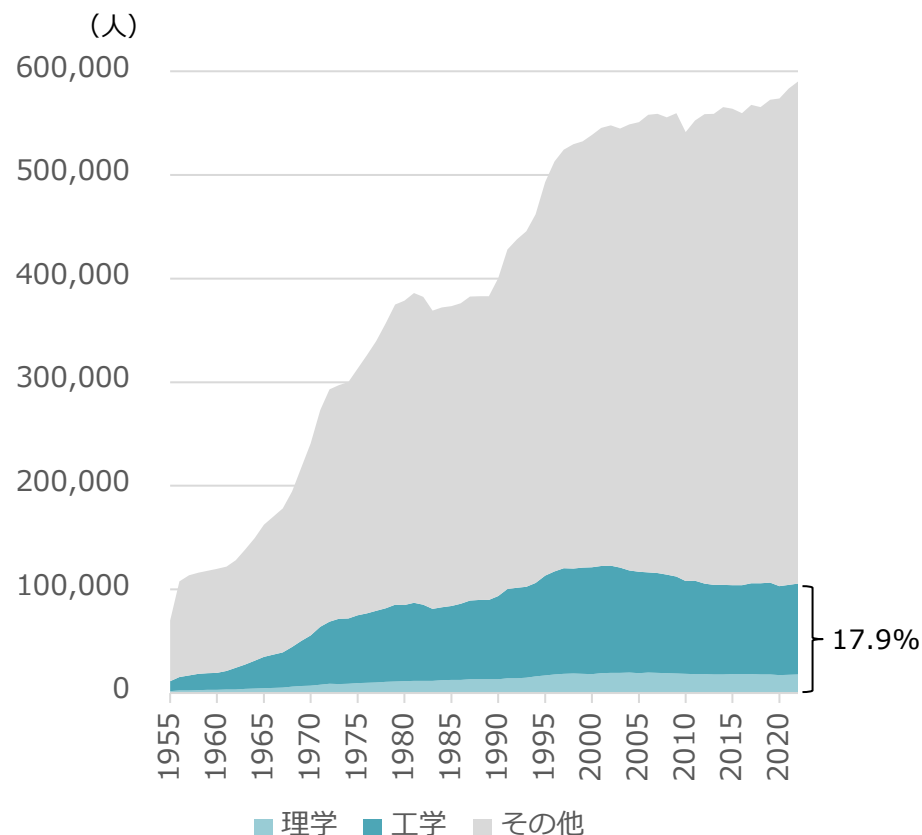
	管理的職業従事者	技術者
15-24歳	0.1	4.8
25-34歳	2.5	25.8
35-44歳	10.5	28
45-54歳	22.4	24.9
55-64歳	31.1	12.2
65歳以上	33.3	4.3

技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性③ 新卒採用市場

- 進学率の上昇により大卒者数は上昇傾向にあるが、理工系の大卒者数は2000年以降減少に転じる
- 大手企業の大卒採用数は増えていない一方、求職者側の大手志向は根強い

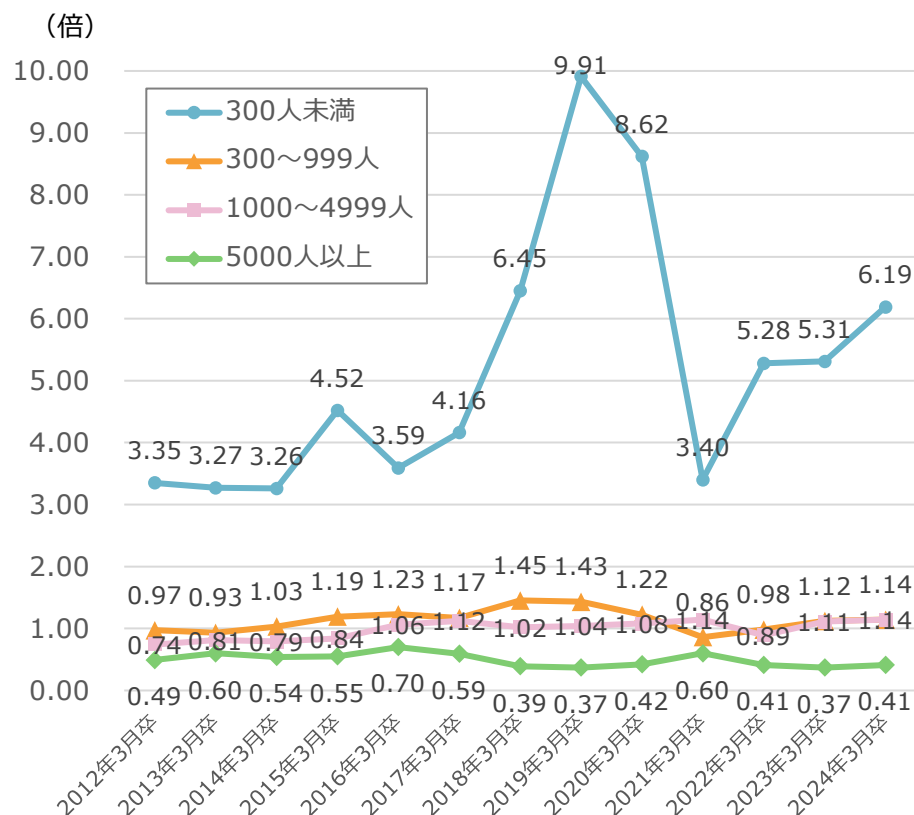
16. 学部別大卒者数の推移

出典：文部科学省『学校基本調査』より当社作成



17. 従業員規模別の大卒求人倍率

出典：リクルートワークス研究所『第40回ワークス大卒求人倍率調査』

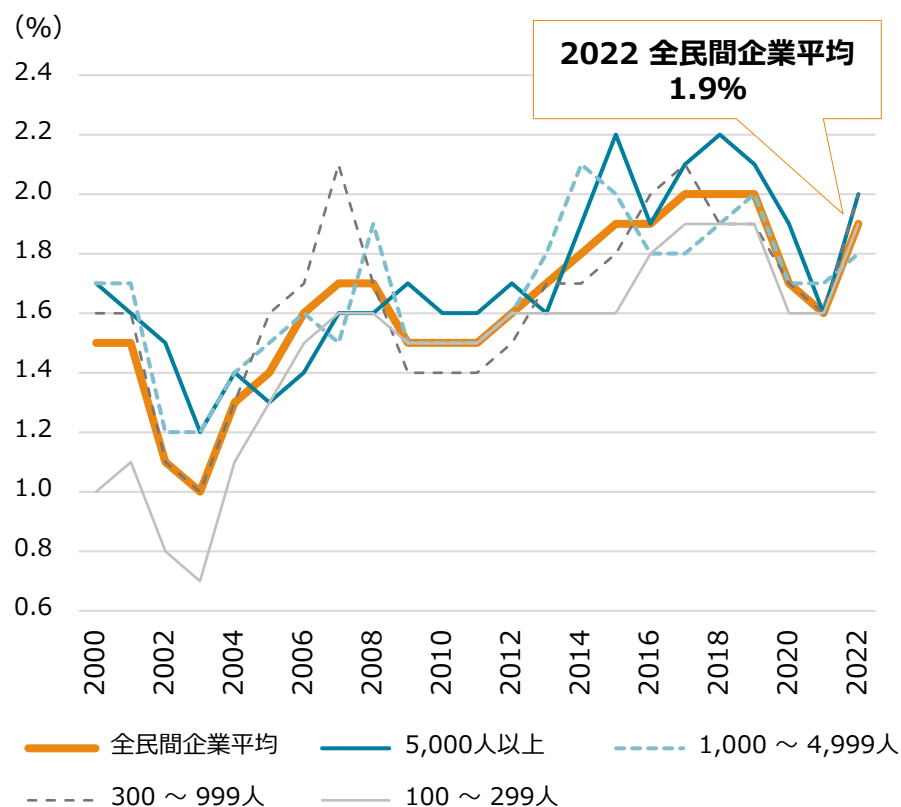


日本の賃金上昇率と人的資本投資

- 従業員数によって多少の違いはあるものの、日本の民間企業の平均賃金の年間上昇率は2%前後を推移
- 日本の人的資本に対する投資は、官民ともに他の先進国に比べて著しく少ない

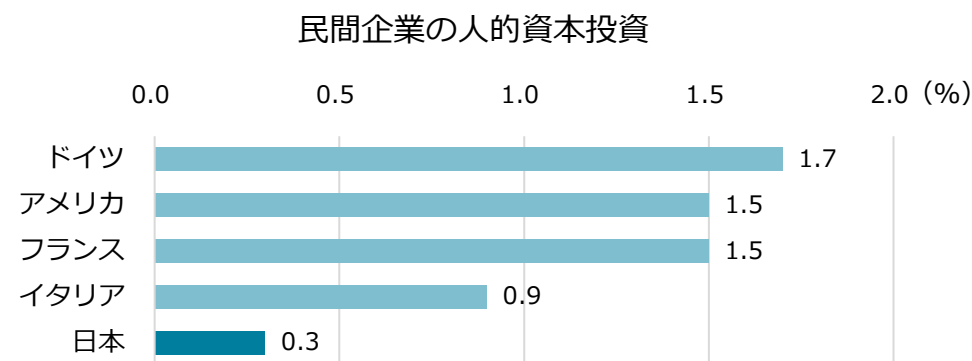
18. 1人平均賃金の改定率

出典：厚生労働省『賃金引上げ等の実態に関する調査』より
当社作成

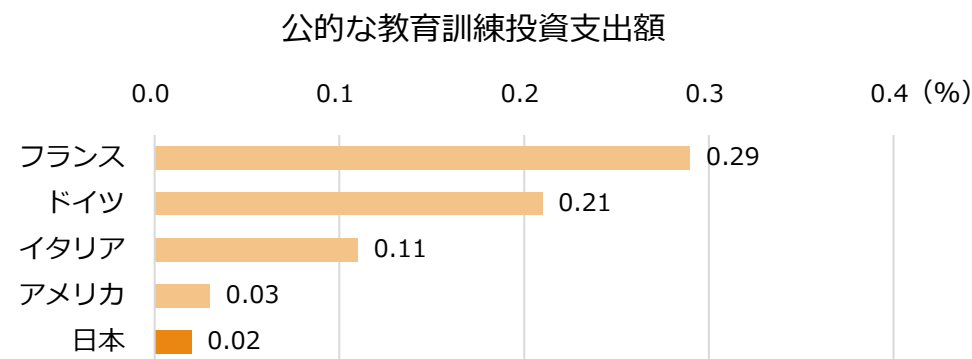


19. 各国の人的資本投資（GDP対比）

出典：みずほリサーチ&テクノロジーズ『「新しい資本主義」と人的資本投資』より当社作成



※ 2010～2018年（アメリカのみ～2017年）の平均値で、投資にはOJTを含まず



※ 2010～2019年の平均値

免責事項

当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれていますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

— お知らせ —

当社では、Webサイトにおける新着情報の更新を、メールにてお知らせするサービスを実施しております。
ご希望の方は、右記QRコードよりご登録をお願いいたします。



